



## 第22号

編集発行

園田学園女子大学

シニア専修コース

「けやき便り」

編集クラブ

## ニューノーマル(新しい日常)へ 向かって

園田学園女子大学  
学長 川島 明子



本学は「地域と共に歩む大学」として、昭和54年以来生涯学習に取り組む、40数年の間に昭和、平成、令和の三時代を経験してきました。

さて、現在、新型コロナウイルスの感染拡大で、社会全体の状況は一変しており、本学でも対応に苦慮しております。

まず、この場をお借りしまして、令和元年度シニア専修コースの卒業式、令和2年度入学式の挙行を残念ながら中止せざるをえなかったこととお詫び申し上げます。

緊急事態宣言が発出され、本学では政府および兵庫県知事からの要請を受け、5月31日まで臨時休校とし、学生の入構は原則禁止としました。

そして、5月25日に全都道府県の緊急事態宣言が解除されましたが、ホームページに掲載しておりますように、「密集、密閉、密接の3つの密」を避けて学生・教職員の安全と安心を守りながらすべての授業を平常時の対面で行うことは困難と判断し、引き続き1学期は遠隔授業の実施を継続することにしました。

さらに、6月14日から適用となる「新型コロナウイルス感染拡大防止のための園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部の活動指針」をホームページ(重要なお知らせ)にて公開しています。今後の活動レベルについては、本学感染症危機対策本部で兵庫県、大阪府の感染状況等を見極め、更新していくことにしています。

シニア専修コースの皆様から、シニア専修コースの開講、本学でのさまざまな活動を行うことを、心待ちにしていられるとの声が届いていると、聞いております。

しかし、第2波、第3波への警戒も解けず、学生、シニア専修コースの受講生、教職員の安全、安心を守りながらの通常通りの授業形態での実施までは、まだしばらく慎重に検討をし、準備する必要があると考えております。

コース開講を楽しみにしていただいている皆様方には、大変申し訳ありませんがご理解を賜りますようお願いいたします。

来年は、シニア専修コース開設20周年を迎えます。一日も早く、不安や閉塞感、感染への恐れのない新しい日常になることを心から願ってやみません。

皆様方にはくれぐれもご健康に留意され、毎日を元気に過ごされますことを祈念しています。

目 次

ニューノーマル(新しい日常)へ向かって.....	園田学園女子大学学長	川島 明子	P1
卒業生からのメッセージ			
園田シニアで過ごした3年間に・・ありがとう .....	情報 卒業生	小仁 恵子	P3
異文化と好奇心.....	国際 卒業生	河野 貢	P4
3年間の学園生活.....	文歴 卒業生	川田 郁夫	P5
「いきいきシニア受講生」の近況報告			
巣ごもりに漢詩はいかが.....	文歴 2年	田中 祐二	P6
コロナ騒動の中、母と仲間と私.....	情報 3年	菅原 京子	P7
外出自粛に耐えかねて・オンライン「喋り会・飲み会」を楽しむ.....	研 究 生	井上 聖明	P8
コロナ休みで出来たこと.....	情報 3年	有田 清博	P9
「コロナ」考.....	研 究 生	徳田 將之	P10
未曾有の体験「巣ごもり生活」に思う.....	研 究 生	中村 米三郎	P11
マスク日記.....	研 究 生	高山 純子	P12
雑感.....	研 究 生	田畑 正信	P12
ホームコースにて.....	研 究 生	池田 正子	P13・P14
外出自粛の日々.....	研 究 生	峠田 桂子	P15
パズル漬けの生活.....	研 究 生	橋本 秀明	P16・17
あるある川柳.....	研 究 生	酒井 恵理子	P17
<ぞっきちようから>我が家のコロナ騒動.....	研 究 生	金森 扶美子	P18
街角・貼紙ウォッチング.....	文歴 2年	河田 かつのぶ	P19
コロナ騒動の中で メールで繋がる、励ます、シェアする.....	国際 16期生		P20・P21
「ボヤキは元気のもと」メール・編集クラブ限定メール.....	編集クラブ	河田 かつのぶ	P22~P24
「ボヤキは元気のもと」メールに寄せた川柳.....	研 究 生	木下 俊造	P25
竹の子とマーマレード.....	研 究 生	平田 好子	P26
ラグビー笑劇場.....	研 究 生	木下 俊造	P27
閑話三題.....	研 究 生	合田 一弘	P27
万葉集と寅さん映画.....	文歴 2年	田中 祐二	P28
映画「AI崩壊」その日、AIが命の選別を始めた.....	研 究 生	三島 佳彦	P29
園田の猪名川と藻川を歩こう.....	研 究 生	眞鍋 幸裕	P30
新型コロナ対策の優等生「台湾」からの贈り物.....	研 究 生	阪田 正樹	P31
宇宙に最も近い種子島.....	国際 2年	鈴木 好夫	P32
西国三十三霊場巡礼.....	研 究 生	前田 守	P33・P34
私の道楽.....	研 究 生	馬場 正子	P35・P36
「語りかけボランティア」-中国帰国者との多文化共生-	国際 3年	木田 信正	P37・P38
けやきゴルフ同好会会員募集.....	文歴 3年	福島 久雄	P39
社会連携推進センター 生涯学習ユニットからのお知らせ.....			P40
編集後記.....	編集クラブ		P41

電子版「けやき便り」の発行にあたって

「けやき便り」編集クラブでは、例年6月中旬に発行してまいりました「けやき便り」(春号)を、今年は断念せざるを得ないとほぼあきらめておりました。しかしながら、こういう時だからこそ皆さんの声を交換しあう場として電子版「けやき便り」を発行できないかと考え直し、計画することにいたしました。

家で過ごすことが多くなった生活のなかで、皆さまが気づかれたこと、新しく始めたこと、気持ちの変化など「いきいきシニア受講生の近況報告」としてお届けできれば、との思いでした。

ご協力いただいた各クラブ代表の方々、生涯学習ユニットの皆さま、原稿をお寄せくださったシニア受講生の皆さまに感謝申し上げますとともに、前代未聞の状況下で皆さまの思いが詰まった「電子版『けやき便り』」をご覧くださいますことを願っております。

「けやき便り」編集クラブ

## 2019年度 シニア専修コース

## 卒業生からのメッセージ



(写真は2018年度卒業式風景より)

## 園田学園シニアで過ごした

## 3年間に・・・ありがとう！

情報学科卒業生

小仁 恵子

2017年4月、自分だけの為に使えるまとまった時間をやっと手にして、思い描いていた40数年ぶりの学びの春が始まりました。

十数回の転勤を経験して、引っ越しに関する事は手早く出来る特技!? それぞれの土地に順応する経験値はそれなりに高いと・・・(苦笑)しかし学びに関しては長～いブランクがあるので、まずは90分授業に耐えられるのかどうか? 緊張と不安を抱えての始まりでもありました。

気力・知力に特別自信はなく、今まで家族任せであった苦手分野の情報学科を敢えて学ぶことにした甘さを直ぐに後悔しました。苦行に近い毎日が続きましたが、クラス内で互いに教えあうことが助けになり、解らないマイナスではなく、解ったプラスを喜ぶことに集中しました。そして何より素敵な学友3人との出会いが大きな変化になりました。同じ目的を持ちお互いを尊敬して高めあう気持ちの良い関係を築き、卒

業課題発表も一緒にできたことは、園田学園シニアで過ごした3年間をより彩りのあるものにしてくれました。入学時の14名から10名と仲間は減りましたが、一緒に卒業します!



2017年6月親睦会より

「けやき遊歩クラブ」で他の学科生との交流、公開講座での学びと出会いも沢山! 庄下川の桜、「けやき祭」の頃の学内の紅葉、バンド“THE GAKU-YOU”の演奏、遊歩クラブで歩いた京都、奈良、廃線ウォーク・・・思い出の写真を胸いっぱい、4月から多分終の棲家になるであろう東京で、新たな出会いと学びに期待して! お世話になりました。

(2020.3.2 原稿受領)

## 異文化と好奇心

国際文化学科卒業生

河野 貢

本学の国際文化学科を躊躇なく専攻したのは、ずっと異文化・国際事情に興味を持っていたこと及びそれらに対してもっともっと学び、知識を修得したいという強い好奇心が背景にあるからでした。

しかしながら入学した国際文化学科は、何と5名という少なさに驚きを禁じえなかったのです。例年の同学科の生徒数・同学年の他学科の生徒数と比較しても異例で、もし1名少なかったらこの学科は成立しなかったということの後で伺って冷や汗ものでした。

少人数でしたが自然と仲間意識が芽生え、1～2ヶ月に1度チャティーでお茶会を実施、授業に関連した異文化・国際事情や他愛もない雑談まで楽しい時間を過ごしたものです。また授業で受けたタイ、ベトナムの関連で専門のタイ・ベトナム料理店にも皆で行き、3年の時には忘年会も行い、良き仲間達との交流・親睦を深め合うことができとても嬉しく思っています。卒業後も5人とも本学で学び続けるのでこの交流会は続きます。

5人という少人数の利点を逆に活かして(もちろん授業には、研究生の方も一緒に学んでいるのですが、それでも少人数)講義を聞くだけの一方的授業の展開でなく、質疑応答を臨機応変に行う双方向の授業もあって本当の意味での知識修得ができました。この観点から本学は深く学ぶことができる大変良いシニアスクールだということを強調しておきたいと思えます。

同期生は、みなさんもちろん勉強に熱心でしたが、加えてクラブ活動、国際文化学科全体の講演会への積極的参加並びにフィールドワークで学年を越えての旅行に参加し研鑽を積まれた

方もおられます。私もフィールドワークとして国立民族博物館や有馬温泉を訪問し、関係者の方々からの説明をお聴きし、種々学ぶことができました。

最後のけじめの卒業式は、新型コロナウイルスの問題で中止となり残念ですが、やむをえません。

当然のことながら、歳をとって行くわけですが、今後も好奇心を忘れず、良き仲間と共に更に学び続けていきたいと思えます。

最後に、貴重な講義をして下さった先生方いつも色々相談に乗ってサポートいただいた事務局の方々に感謝し厚くお礼を申し上げたいと存じます。



2020年2月卒業生送別会より

(2020.3.28 原稿受領)

## 3年間の学園生活

文学歴史学科卒業生

川田 郁夫

学園生活の最後が新型コロナウイルス禍によりうやむやになってしまったのは、想定外の出来事でした。ハッピーエンドで修了できなかったのは残念でしたが、研究生として残れるのが救いではあります。

私は、退職前から学び直そうと決めておりました。自宅から近すぎず、遠すぎず、講座内容

が難解過ぎず適度な内容で、受講料がリーズナブルな学校を探しておりました。その結果園田学園のシニア専修コースを選択し、選択に間違いがなかったことを実感しました。女子大でもあることから騒がしくなく、落ち着いた雰囲気気楽に通うことが出来ました。選択学科も文学歴史学科で正解でした。元々理系の私は文系の授業に憧れており、特に日本の歴史に興味があったのでぴったりでした。入学してみて、同じような考え方、目的を持った方がおられたことにも自分の選択が間違っていなかった裏付けになりました。講義は基本的には一方通行ですが、新しい知識を得られるだけで私には十分でした。でも、インプットだけでは身につかないので、再度復習する時間があつたにもかかわらずアウトプットしなかったことを反省しております。コロナ禍の今、あり余る時間を利用して資料を読み返すのもありだなと思っております。多分、この「けやき便り」が発行される頃には実行していると思います。

退職と同時に異境の地神戸に住むようになったので、住まいの近くにはほとんど知人がおりませんでした。学校に入った目的には友人を作ることもあり、同学科の友人は直ぐに出来ました。クラスの皆さんとも仲良く講義を受けることができ、女性陣が多いこともあり華やかさがあって課外活動も含め楽しいキャンパスライフでした。クラブ活動にはあまり興味がなかったのですが、1年目はITを楽しむ会に参加し、遊歩

クラブの高評価につられ途中から入部しました。関西のことをあまり知らない私にとっては、新しい発見・出会いを提供してくれる当クラブは願ってもないクラブでした。連れて行ってもらえると言うことがこんなにありがたいことかと思いました。しかし、2年目から運営委員を任せられ、主催する側になるとこれは大変なことだと分かりました。当初は簡単な手伝い程度であったものが、3年目からは企画立案実行という大役を仰せつかり、実行者側の苦勞が身にしました。例会終了後に参加者からねぎらいの言葉をかけられたときはうれしく、達成感を味わうことが出来たことは、励みになりました。

クラブ活動にはあまり興味を示さなかった私が、自分から新しいクラブを起こそうとは思ってもみませんでした。奮起して今年度からゴルフ同好会を発足させました。現役時代に仕事・趣味でゴルフをやっていた方は我々の年代では多いと思います。1年前に1年後輩の福島久雄さんがゴルフ同士を募って「けやきゴルフ同好会」を立ち上げられましたので、私もその一員として楽しくゴルフをやらせてもらいました。その「けやきゴルフ同好会」を、けやきクラブの一つのクラブとして今年の1月に認めてもらいました。現在会員は13名ですが、会員を募集しております。今年の4月から活動を開始する予定が、コロナ禍により出鼻をくじかれ、何時になったら第1回目のけやき会が開催出来るか分からない状況になっており、ちょっと前途多難な船出ではあります。

9月から研究生として再出発のつもりで学業・クラブ活動に励みたいと思います。

(2020.5.21 原稿受領)

\*卒業式が中止になったため、これまでの写真を使用して紙面を構成しました。(編集クラブ)



2017年入学式後の集合写真より

## 特集 「いきいきシニア受講生」の近況報告

新型コロナによる外出自粛のなかで、多くの方々が時間の使い方を工夫されて、これまでにできなかった試みや挑戦を行い、多くの気づきを得られました。ここではそうしたシニアの皆さまの声を「いきいきシニア コロナのくらし」としてお届けいたします。



▲コロナ対策でほぼ閉じられた校門

いきいきシニア  
コロナのくらし

### 巣ごもりに漢詩はいかが

文学歴史学科2年 田中 祐二

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今まで経験したことのない外出自粛を余儀なくされる大変な状況が続いています。

現在の私は体重の“オーバーシュート”に怯えながら、妻から“ロックダウン”をされないよう家事を手伝う日々？ を過ごしております。

ここ数か月のコロナショックは、現状に甘んじていた人間を試しているのではないか、という気がしています。今までの日々の生活がいかに恵まれていたかを再認識し、これからの人生を見つめ直すいい機会だと前向きに受け止め、今の状況を乗り切りたいと思っています。

朝日新聞・文化文芸欄（5月3日）に掲載されていた「巣ごもりに短歌はいかが」という記事を読んだところ、現在、朝日歌壇に届く投稿の多くがコロナ関連とのこと。今の事態に対する思いを歌に詠み、精神的なストレスを発散する方が増えているようです。

私は、NHK カルチャーラジオの「漢詩をよむ」を聴講し、漢詩に親しむことにより心を癒しております。この4月からは今最もタイムリーとも言える

「信 ゆるぎない絆」がテーマとなっており、現在の世間において「信頼」というものが揺らいでいるなか、信義・信念を詠った格調高い漢詩を聴きながら、声を出して読むことで気持ちを落ち着かせ、精神的な安定を図る事ができております。

また数年前に年齢が60歳代に入り、年を重ねるごとに何事につけ悲観的になっていましたが、4月に紹介された白居易が詠った「耳順吟」（孔子の「60歳にして聞くことに素直になる」をもじったもの）によると、「60歳代は無欲で邪念も消え、心は静まる。体力も情感もまだ衰えておらず・・・決して60歳代を嫌がってはならない」とあり、元気をもらおうと共に、現状を嘆いてばかりいてはだめだと改めて思いました。

苦あれば楽あり、人生万事塞翁が馬・・・現在の事態を乗り切れば、必ず良い事があると信じております。

どうか皆様、一緒に「がんばっていきまっしょい！」

（あとは死ぬまでに1回は阪神タイガースの優勝が見たい！）

(2020.5.9 原稿受領)



いきいきシニア  
コロナのくらし

## コロナ騒動の中、母と仲間と私

情報学科3年 菅原 京子

コロナウイルス騒動、最初はこんなことがあるんだな〜と感じでした。映画や小説の中の話が、こうして現実にかかることに驚きました。

我が家は、昨年10月実家の母が、転倒し腰の骨を折り入院しました。それ以来メールや電話でしか連絡が取れなかった複数の友人達と、大学の後期授業が終わった2月に会いました。コロナの話が出始めている頃でしたが、久しぶりにお喋りに花が咲き、ランチしたり、遊びに行ったりと楽しい時間が過ごせました。

母の退院は、4月1日で緊急事態宣言が出る1週間前です。入院前は、活動的で自立した独居生活を送っていましたが、半年の入院で杖歩行となりました。実家に戻ってくると、環境が変わり、コロナで制限されることが増え始めたせいか、物忘れや混乱が起きてきました。母は住み慣れた自宅で生活したい思いがあり、一人娘の私は、主人の了解を得て、週3日泊りがけで実家に行くことにしました。母や私ができないことは、介護保険サービスを利用しました。

緊急事態宣言が出ている4月でしたが、キャリーバッグに作ったおかずを詰め、実家のある垂水の山奥に、電車と高速バスを使って1時間かけて毎週行きました。知らない人が見たら「どこかに旅行に行くのか」と眉を顰めるんじゃないかと、人の目が気になりました。

買い物が大好きな母だったので、1日だけは母とバスに乗り外出しました。名谷の大丸(食料品売り場)や垂水の駅前等、人通りは少なかったですが、比較的小店は開いていました。洋服や雑貨等を見て回り、母に買い物するように促し、側で見守りました。

正直、毎日感染者が増えていくニュースを聞く中、得体の知れないコロナウイルスが怖く、自分の行動に躊躇することもありました。でも

何もしないでいると、負の連鎖で母がどんどんだめな方向に行きそうで・・・とにかくマスク、手洗い、うがいと3密に気を付けて行動しました。

母の活動仲間も家庭菜園で作った野菜を玄関に置いてくれ、ご近所も気に留めてくれました。

そんな生活が続く4月中頃に、クラスメートから、「大学の『レクチャーエイド』の『おしゃべりコーナ』が動いている」と、連絡がありました。5月の初めには、クラスメートがScratchの作品を投稿し、そうこうしていると、山本先生から「Zoomを始めよう」になり、皆で、おしゃべりとScratchの勉強がスタートしました。

毎日、実家と家との家事に追われ、自分の楽しみごとがない毎日でしたが、ようやくパソコンの前に座る時間を設け、頭を使い出しました。ScratchもZoomも初めてで、ネットで調べたり、先生やクラスメートに教えてもらったりするこの時間は、充実した時間となりました。

それと「けやきITを楽しむ会」の中村さんからもいろんな情報や、「夏季、冬季特別勉強会」のテキストの見直し版をメールで送ってくださり、再び、私の学びに繋がりました。

今後、日常生活は、新しい生活様式に変わっていきますが、人の温かさや家族の大切さは変わらないと思います。

拙い文章になりましたが、コロナ騒動のこの4カ月を、書き留めておきたいと思いました。最後に大学の山本先生、中村さん、クラスメートの皆さんありがとうございました。

そしてお母さん、いつまでも元気で笑顔で過ごしてくださいね。「いつも口うるさい娘」より。(母は今、一人でも近所で買い物ができ、洗濯干しもすることができるようになりました)

(2020.5.24 原稿受領)

## 外出自粛に耐えかねて

オンライン「喋り会・飲み会」を楽しむ



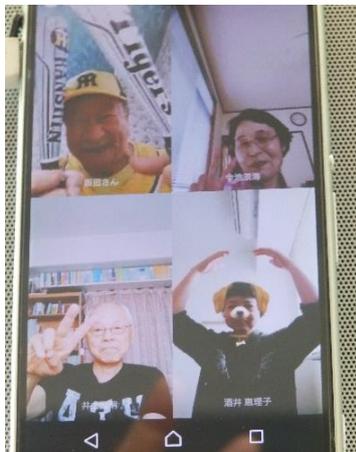
研究生 井上 聖明

今年、年明け早々からの「新型コロナウイルス」感染拡大に伴い、春からの授業は取り止めとなりました。その後、毎日のニュースはコロナに明け暮れ、全国的な外出自粛も要請される中、身をひそめながらの生活に、心身ともに疲れがたまる日々が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は、いつもなら学園で講義を受け、それぞれ気の合う仲間と食事をしたり、にぎやかに喋ったりしていたこの時期に「誰とも会えない」という日常がとても苦痛となってきています。

そこで、今話題のオンライン会合（飲み会）を思い立ち、いつもお付き合い頂いている研究生の方達に無理やりお願いして、毎週金曜日の午後に自宅お喋り会を開催しています。

オンライン会合の方法は「ZOOM」や「たくのむ」などいくつかあるらしいのですが、とりあえず、一番手頃な「スマホのライングループ動画」を使っています。



一回目は「お互いが見える」ことに想いを巡らせ、部屋の片づけと服装などに気を遣い、飲み物と食べ物の準備を済ませ、次にスマホの充

電とWi-Fi接続などでんやわんやのスタートで、うまくつながるかも不安でした。

ところが、メールと違って皆さんの顔が見えた瞬間（おおっ）と歓声があがり、お互いの元気を確かめ合い、久しぶりの懐かしさも相まって、一気にお喋りの盛り上がりとなりました。

そして、ある程度喋ったところで、ついお酒にしたい気分になりまして、それ以降はいわゆる「飲み会」となった次第であります。

とは言っても、慣れない私たちに全てうまくいくはずもなく、スマホが熱を帯びて画像が途中で途切れる、電池が無くなるなど、ITに長けた方なら上手く調整できることも「熱が出たら保冷剤で冷やす」「充電器につないでおけば大丈夫」と信じて楽しんでいました。



ところが良く調べてみると、これはどちらもスマホの故障の原因になるのではではない事だったので。この様に多少のトラブルもありますが、会話不足解消のツールとしてはとても便利で楽しいものですので、何かのグループで試されるのも良いかと思います。

ただし、自分の住まいでゆっくり過ごせませんので、どうしても飲みすぎると、家飲みが病みつきになりそうなので要注意なことと、アナログで育った私達の世代では、やはり皆で顔を合わせてワイワイガヤガヤの方がより自然で、その日を待ち焦がれている感じもします。

世界的に、テレワーク、テレビ会議、オンライン授業などが一般的になりつつあるなか、何とかコロナが治まったとして、私達も人や社会とのかかわり方が大きく変わっていく様な気配がしています。いま体験している「オンライン飲み会」もその一部かもしれませんね。

一日も早く皆様とお会いできますように。

(2020.5.18 原稿受領)

いきいきシニア  
コロナのくらし

## コロナ休みで出来たこと

### 『日本国家の神髄』の紹介

情報学科3年 有田 清博



園田シニア専修コースの新学期が休講になって、週2回の予定がなくなり、時間ができ、読んでいなかった本を読みましたので紹介させていただきます。タイトルは『日本国家の神髄』で作者は佐藤優です。内容は1937年に書かれた『国体の本義』の解説です。

前書きでは、2008年9月のリーマンショック以降、米国発の新自由主義経済の限界が明らかになった。主要国は、口先では、「保護主義に反対する」と言いながら、実際には保護主義傾向を強めている。主要国はエゴイズムを露骨に示し、自国の要求を最大限に提示する。日本は米国、ロシア、中国、イギリス、ドイツ、フランスなど、周辺国に決定的な影響を与える帝国主義国である。帝国主義国としての責務を自覚し品格のある形で国家の生き残りについて考えなくてはならない。『国体の本義』で展開されている思想は1930年代の後半に、主要国が拡張主義的傾向を強める中で日本国家と日本国民の生き残りを真摯に考え、現実に役立てることを考えた。国体とは、日本固有の現象ではなく、国家を成り立たせる根本原理のことである。目に見えない憲法と言い換えてもよい。

本文において、現在日本では、同胞意識が希薄になり、その結果日本社会が弱体化している。社会が弱体化すれば、国家は弱くなる。それではどうすれば、社会は強化されるのであろうか、個人を強化することによってだろうか、しかし、個人を強化しても、社会は強くならない、国家も強くならない。共同体意識を持った、自己の能力を自分の為だけでなく、他者の為にも用いる気構えがある個人を強化するのである。社会的意識から出発する必要がある。『国体の本義』では、人間と自然関係も和によって作られているという、我が国は海に囲まれ、山秀で水清く、春夏秋冬の季節の変化もあって、他国には見ら

れない美しい自然をなしている。この美しい自然は、神々と共に天つ神の生み給うものであって、親しむべきものであれこそ、恐れるものではない。そこに自然を愛する国民性が生まれ、人と自然との和が成り立つ。この和の精神は、更に進んで、如何なる集団生活の間にも実現せられねばならない。国民の和が実現するためには、国民各々がその分をつくし、分を発揮するより外はない。相互に自己に執着して対立をこととせず、和を以てすべきである。西洋は個人主義、自由主義、合理主義の精神で、ギリシャ思想とキリスト教を母体とする文化体系から生まれ、世界を構築した。欧米人はこの世界を普遍的であると考えているが、これは過ちだ。部分的な世界に過ぎない。歴史も世界も複数存在するのである。それは西欧精神が、個体がすべてであるとする世界観によって組み立てられているからだ。人間は社会的存在である。一人で生きていくことが出来る人間は存在しない。個人主義が日本人と馴染まないのかについて考えるうちに、われわれの思考の根底に流れる神話を再発見することになる。国体は見えない形で存在している。この見えない世界を、我々は、神々より与えられた神話により知ることができる。日本人は、欧米の普遍主義の呪縛を解放し、国体を再発見するのだ。そうすれば現下の危機的状況から抜け出す光が見える。

以上が本文からの抜粋であります。今世界が混沌としているなか、日本人が持っていた和の思想がいつか壊されないかと不安な気持ちです。これからの世代の人々がマスコミや、風聞(SNS等)に惑わされずに日本人としての考えを持って頂きたいと！今回、ゆっくりと読む事ができ、又、投稿の機会を得て纏め作業により、理解を深めることができました。

(2020.5.19 原稿受領)

いきいきシニア  
コロナのくらし

## 「コロナ」考

研究生 徳田 將之

「新型コロナ」と聞いて思い出したのだが、サラリーマン2年目(1971年)に初めて買った車が中古のトヨペット・コロナ・ハードトップ1600Sだった。最近あまり聞いたことがないので、調べてみるととうの昔に「コロナ」というモデル名は無くなっていた。もし今でも残っていたらトヨタはどうしたのだろうか?と余計なことを考えてしまった。

「けやき便り第12号」に「主人在宅ストレス症候群」という拙稿を書いた。定年後の亭主が外出もせず一日中家にいるとそれが女房の強いストレスとなり体調を崩し、果てはうつ病や心身症にもなるという病気だが、冗談ではなく医学界でも正式に用いられている病名だそう。

その「コロナ」がウイルス名としてクローズアップされ「3密」を避けるため「テレワーク」が推奨されているが、確かにその効果は認めるものの上述のようなマイナス面も生じるだろうから、もし現役時代にそのような在宅勤務になっていたらと考えると早くに定年を迎えていて良かったなと思っている。考えてもみてほしい、今も昔も大方のサラリーマンの手近なストレス解消法が会社帰りの居酒屋でのチョット一杯にあることは論を俟たないから、他人事ながらこの機会が失われる後輩には同情したくなる。

さて、自粛生活(ステイホーム)である。過去に三日坊主で幾度も挫折していた断捨離を懲りもせずに再開した。対象は書籍・写真アルバム・CD/DVDの三点セットである。書籍はブックオフなどへ持ち込んでいるが、二束三文で売りに忍びない本は「メルカリ」に出している。しかし、そのサイトで面白そうな本を見るとつい衝動買いしてしまい、結局何をしているのか分からない。

写真アルバムもかなりの保管スペースを占めるので大物の断捨離ターゲットなのだが、これはネガフィルムを直接スキャン出来るスキナーでデジタル化を再開しPCに取り込んでいる。このキャノンのスキナーはかなりの優れもので35mmネガフィルムなら一度に12コマのスキャンが可能なのでネガが残っている写真にはオススメである。

CD/DVDはレコードとビデオテープを処分した後には知らず知らずに増えてしまったのだが、極論すればいずれもがデジタル・ソースなのでPCやDVD(Blu-ray)レコーダーの内蔵/外付HDDへ取り込めば本来の用途としては全て必要ない。しかし、特に私が愛してやまないビートルズのCDはカバージャケットやライナーノーツにもこだわりがあり現物保管し今回の断捨離対象外である。余談だがレコードプレーヤーを処分した後でもビートルズのLP10数枚を残しているのは同じ理由である。

音楽と言えば軽音楽同好会の親父バンド「THE GAKU-YOU」の活動も3月初旬の合同練習以降は自粛している。結成5周年記念の阪急西宮北口・芸文サマーライブが中止となり自宅練習にも気合が入らないのだが、下手なギターの腕がこれ以上落ちないように取り敢えず毎日触るようにはしている。

ところで、この自粛生活で感じたことだが、人は人と会って話をするのが如何に大事で、そのことで自分の行動範囲も広げられるのだな、と思った。自粛生活の後は「新しい生活様式(ニューノーマル)」だとか…。

家人がため息をつきながら「幸せって普通の生活が出来ることなのよね!」とボヤいていたが、同感である。

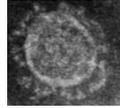
(2020.5.26 原稿受領)

## 未曾有の体験「巣ごもり生活」に思う

研究生 中村 米三郎

### 1. 新型コロナウイルスの猛威広がる

2月18日実施予定の67回例会「伏見を巡る」は、新型コロナウイルスがすでに広がりを見せており、奈良・大阪・京都の市内は感染者が出ていたので



「例会を中止します」と「遊歩クラブ」会員にメールで連絡をしました。

2月13日、「遊歩クラブ」の運営委員会を開催しました。テーマは、3月、4月の例会の新型コロナウイルスへの対応です。3月の例会は中止、ただ4月6日実施予定の69回例会「お花見 背割り堤桜」は下見を3月中に行う必要があるため、4月はまだ例会が可能かどうか分かりませんでしたでしたが中止にしました。

まだこの時点では、4月の入学式と新入会員への対応を検討する運営委員会を3月19日に開く予定でしたが、大学側が3月31日までシニア専修コース生等の学内への立入りを禁止にされましたので中止にしました。

「生涯学習ユニット」から3月26日に、4月9日の「入学式は中止」、4月13日からの「授業開始は延期」の発表があり、続けて4月3日に、シニア専修コースは「前期は休止」、「後期から開講の予定」との発表がありました。

私は2月13日から、完全な「巣ごもり生活」を送っており、4月3日の「前期は休止」の発表があるまでは、4月からの「遊歩クラブ」の行事等の計画を考えていました。

### 2. 「巣ごもり生活」の必要性を認識

「前期は休止」の発表を受けて、これからは長期間「巣ごもり生活」になる、毎日をどのように過ごすかを考える必要があったと思いました。

### 3. 「巣ごもり生活」のスケジュール

長期間の「巣ごもり生活」では、頭脳の一層の老化、体力の低下、ストレスが心配なので、「外出自粛」でもウォーキングは認められているので、次のようなスケジュールを作りました。

(1) 毎朝、娘の家族と我が家とで、お互いの体温を交換して朝の挨拶を行い、ドアノブ・取手、スマホ等を消毒液でクリーニングしました。

(2) 午前は、頭脳の老化防止のため、頭の体操を行う。頭の体操は、やはり今まで私の生活の基盤となったITを中心に考えました。

①「ITを楽しむ会」の特別勉強会のテキスト「パソコン概論1 (39ページ)」の改訂を行い、「ITを楽しむ会」の会員に「外出自粛」の一助になれば、と思い提供しました。



また、このテキストを使って、オンライン勉強会を6月に実施する予定です。

②「ICT」の理解を深める。

今回の新型コロナウイルスでは、テレワーク、オンライン学習等でICTの重要性が認識されたので、私は、改めてICTで社会に「何か、お役にたきたい」と思いました。

③「Python」の理解を深める。

私とITとの関わり合いは50年を越しますが、私にとって未知の分野である「Python」を少しでも深く理解したいと思いました。

(3) 午後は、体力維持・ストレス解消のため、ウォーキングを三日で二日行い、ウォーキングのモチベーションを維持するため、京から江戸までの「東海道53次」495kmを走破することにしました。5月22日、120km程歩き桑名を通過しました。



歩く所は芦屋市南部の海岸エリアで、一日平均90分、8千歩程歩いています。9月12日の誕生日には、江戸に到着したいと思っています。

### 4. 「巣ごもり生活」に思う

「巣ごもり生活」を続けていると、学校で皆と一緒に講義を受ける、クラブ活動を行う、談話をする、という何気ない生活の中に仲間とともに自分もいれば幸せであると思いました。

「通常の普通に過ごしていた日々が、最高に幸せな日々である」と改めて思いました。

(2020.5.18 原稿受領)

## マスク日記

研究生 高山 純子

マスク、マスク、マスク!

いまだかつてこれほどマスクを求めたことはない。普段、私にとってマスクとは風邪をひいたときの咳エチケット用にせいぜい10枚ぐらい常備している程度のものである。

3月に入り、不要不急の外出が自粛になったが、マスクをしている人はそんなに多くはなかったし、私もせずに出かけていた。ちょうどその頃、知り合いが偶然手に入ったからといっていくら分けてくれたので安心していた。

4月になって緊急事態宣言が出され、マスクが必須になった。だが朝早くからドラッグストアに並ぶ気力もないので、晒を買って手作りすることにした。しかしそのときすでに晒は店頭にはなかったのである。誰もみんな考えることは同じなのだ。仕方なくネットストアで購入し、幸いにもゴムは100均で一つだけ残っていたのを買うことができた。

布マスクは飛沫を通すというが、私はスーパーへ買い物に行くときは布マスクで済ませている。なぜならお店ではレジ付近に感染防止対策がしてあり、レジ係の人とは一言か二言決まった言葉を交わすだけで、たくさんしゃべることはないからである。

その後、シャープのマスクが販売されることになり、応募してみたが100倍を超える倍率に阻まれ、現在まで落選中である。そんな中アパレルメーカーなどがしっかりとした生地の洗えるマスクを販売し始めたので何点か購入した。

また最近はマスクと関係のない近所の洋品店がマスクを販売するようになった。少し高いがアベノマスクもまだ届かないし、どうしても必要になれば、それを買うしかないと思っている。

このままでは、夏になっても汗をかきながらマスクをしていなければならない。いつまで続くのか。いつの日か、このことを思い出として語れる時が来るのだろうか。

(2020.5.15 記)

## 雑感

研究生 田畑 正信

「年寄に必要なのは『教育』と『教養』だ」とよく言われます。「今日、行くところがある」「今日、用(事)がある」ことが必要だという意味だそうです。

私が、シニア専修コースでお世話になって、今年で10年目です。「もう10年か、あつという間だったなあ」との思いです。この間、週2~3回は学校に通うことが、私の生活スタイルになってきました。それが「コロナ禍」で4月からの講座が休止となって、突然、生活スタイルが一変し、「行くところ」も「用事」もなくなり、それこそ「ズッコケ」しました。

「自粛生活」は当初はまごまごしましたが、しばらくたってようやく、それなりの生活様式をつくることができました。

まず散歩です。毎朝、少し離れた緑地にでかけて歩くようにしました。桜が満開のころから、青葉若葉へ、そして今は紫陽花が満開です。街歩きではなかなか感じられない、季節の移りゆきを目の当たりにして、大げさにいえば「生きている」「自然を大発見した」気分を味わうことが出来ました。

それから読書、大昔に読んだ吉川英治の『私本太平記』『新・平家物語』、池波正太郎の『真田太平記』などを読み返しました。わがことながら、昔と今とでは読後感がまったくちがうことにビックリすることになりました。どうしてこうもちがうのか、それを考えることもまた、読書の醍醐味だと思いました。

この10年、シニア専修コースに通ってきたおかげで、心身ともに豊かな生活を過ごしてきましたが、「自粛」「休止」となって、あらためてその「ありがたみ」が身にしみて感じます。散歩も読書も楽しみではありますが、やはり「学ぶこと、知ること」の楽しみは、かけがえのないものだと思えます。

体調の許す限り、「学ぶこと、知ること」を追求していきたいです。

(2020.6.8 原稿受領)

いきいきシニア  
コロナのくらし

# ホームコースにて

研究生 池田 正子

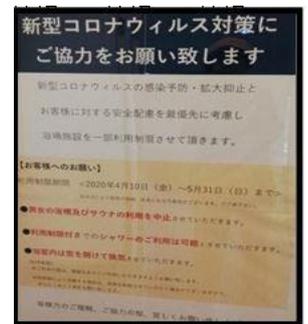
こんな、社会、世の中、世界を、一体誰が、想像出来たであろうか。かくいう私も、ま、ひと月もすれば元の生活に戻れるはず～が、悔しいかな見事に大外れ。



我がクラブも、浴室の入り口に、こんな大きな看板が～。スーツケースはロッカーに置き、着替えだけ持って浴室に～。スーツケースは道路を引きずるので仕方がないと納得はするものの、初めての事で

まごつく。それから、何日もしないうちに、クラブから電話が「池田さん、サウナも浴室も使用禁止になりました!」「え～昨日入ったけど?」「昨日からです。池田さん明日来てびっくりすると思い連絡させていただきました。シャワーだけは使用可能です」「アラ～～～そんな!」「申し訳ないですウ～クラブのサウナが駄目なら、当然フィットネスも。

れてもコロナ、コロナ、コロナニュース、感染者が減った、増えた～あげく高齢者は特に～(苦笑)。便利な生活にどっぷり浸かってたしっぺ返し! 外出を控え、買い出しも2、3日置き。制約されることのなんと多い事か。でも時間はたっぷり。～ならば浴室をサウナ風? 30分位前から暖房を入れ、浴槽に溢れる程お湯を張り、イヤホン耳に音楽を聴きながら眠くなる位浸かって～。(落とさないよう気を付けて) みるみる汗が～正に至福の時、心身爽快。コロナのおかげ? とは言え(レムデシビル・アビガン・イベルメクチン等)の治療薬の完成が待ち遠しい。レストランもお昼のみの営業。ローソンとかコンビニ店で買い求め芝生の上で食べたり、茶店の中とか。(テーブル等もあるので)～それぞれが極力、3密を避けて行動。休業や閉鎖のゴルフ場もある中、当クラブは何とかラウンドが出来て本当有難い! コロナの事を考えると怖い気も～週2回のプレイでひたすら自宅とクラブの往復。少しは運動不足が解消出来るかと～此処が閉鎖されたらどうしよう! ～悲鳴にも似た声が、其処彼処から聞こえてくる。これから梅雨に向かって特に目を奪われる「アジサイ」。



水風呂



浴槽



ジャグジー

こんなやり取りから、早ひと月以上一体いつになったら収まるのか、全く先が見えないこの現状に、サウナだ～い好きの私はホント辛い!

当たり前前の生活が、根こそぎ狂い～明けても暮

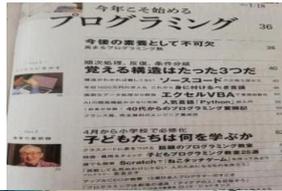
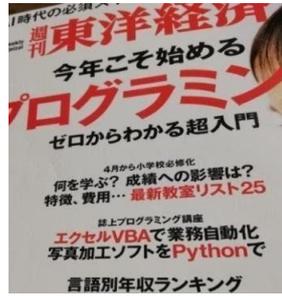
みるみる汗が～正に至福の時、心身爽快。コロナのおかげ? とは言え(レムデシビル・アビガン・イベルメクチン等)の治療薬の完成が待ち遠しい。レストランもお昼のみの営業。ローソンとかコンビニ店で買い求め芝生の上で食べたり、茶店の中とか。(テーブル等もあるので)～それぞれが極力、3密を避けて行動。休業や閉鎖のゴルフ場もある中、当クラブは何とかラウンドが出来て本当有難い! コロナの事を考えると怖い気も～週2回のプレイでひたすら自宅とクラブの往復。少しは運動不足が解消出来るかと～此処が閉鎖されたらどうしよう! ～悲鳴にも似た声が、其処彼処から聞こえてくる。これから梅雨に向かって特に目を奪われる「アジサイ」。毎年何本か失敬して自宅に飾る事も～この広々とした空間に身を委ね、四季を肌で感じる爽快な魅力には抗えない。

## プログラミング

本来ならば、前期の4月から中村さんのお誘いでプログラミングを勉強する筈が～「小学校から必修化」情報でほんの少しかじった記憶を

思い起こし緊張気味に構えてたら～よもやのコロナ騒動。「時間はたっぷりある」仰る通り！売りたい程(笑) 4、5年前は、私には向いてないかも～でそれっきり。

必死だった当時の思い浮かべ、出来る？ かな～そんな思いと懐かしさもあり中村さんが薦めてくれた本を購入。ざっと目を通し、アラー何となく出来た！ 専門的な用語とかソースなんかは難しく、もひとつ理解出来ないけど。



### 特別定額給付金

受給された方います？ 暇なので調べました。マイナンバーカードがある人はWEBから出来るというので、先ず「マイナーポータル」というアプリをダウンロードし、暗証番号だったり諸々の入力を済ませICカードリーダーという機器でカードを反映させるらしい？らしいというのは、最後まで出来なかった。「夫が暗証番号を忘れて」なら私のカードで出来るかも～、が世帯主でない駄目、ICカードリーダーはスマホでも出来るが対象機種だけ、私のスマホは対象外、機器を購入しようと調べたらほとんど販売終了(ソニー、NTT)システムのややこしさに、腹が立つ。マイナンバーカード取得も結構煩わしく、市役所から通知が来て、夫の分も受け取るつもりが、本人でないと駄目、「今、入院中」～“大丈夫ですお届けします”後日、病室までカード一枚ごときに大

の男が二人で持参～。マイカードなのに、どうして世帯主に限定するのか、家族の中で手続きできる人がすればいいと思うんですけど～。知人の台詞「このシステムはホンマポンコツや」。で、現在パンク状態。

使い捨てマスクもあるけど、少しは華やかにしたい、なので作ってみました。手持ちのハンカチでもできます。



購入した3枚の布



糊を洗い落とす



干して乾いたら



半分にカット



ミシンで縫い完成

1日も早いコロナの終息と、日常の生活に戻れることを願い、ウイルスに負けないよう、元気で会えることを祈って！！

——「当たり前だったことが、有難いことだったと気づかされる。子どもたちが教室で学ぶこと、大人たちが職場で働けること。失って初めて知る。したいことはあきらめず、すべきことは焦らずに、できることはくらべずに」。

不安という名のウイルスが、不満や不信を世界中に引き起こした春である。

「感謝の日差しで花が咲く、不満の嵐で花が散る」—— (朝日新聞天声人語) より

(2020.5.17 原稿受領)

いきいきシニア

コロナのくらし

## 外出自粛の日々

研究生 峠田 桂子

5月24日緊急事態宣言解除になったが安心できる状況ではない。

1月28日遊歩クラブ活動の淡路の帰路、バス内で知ったコロナ感染者のニュースで、日本人の感染者が出たということを知り危険を感じた。

2月に入り遊歩クラブでの年度内活動中止のお知らせが発信された。シニアコースも前期中止となった。

日用品の纏め買いに驚き、自分でできることは自分でとマスクは作った。

個人的に活動している会の計画や会議は延期が始まり3月～4月は全て中止。5月に止む無く開催したNPO法人総会は、公共の施設を使わず駅前の公園内での開催となった。前代未聞だった。

**しばらく外出しなかった**ので、何もかもが狂っていた。病院へ検診に行った際は最悪であった。(その他もあるが)

まずバスが土曜日運行になっていて、思っていた時間は狂うし、運転手さんに尋ねたのにもかかわらず、運転手さんが経路を間違っ、途中から病院まで歩くことになった。(通常の日の運行と間違えたのかな?)

最近歩いていないから足が衰えたのかな? 時間に間にあう様早歩きが出来ない。どうにか時間内に到着、受付に予約表を提出した。だが小さな文字と、休みボケか、予約日が1日過ぎていた。受付のご好意で、予約の採血を受け、翌日診察の手続きをしてもらった。

翌日のバスの時刻、経路は間違いなく、予約時刻に診察をうけたが、採血項目が私の検査をしていただく項目と違っていたものが上がってきていた。正常であったのは当然だ。健康診断をしたと思うことにした。投薬の説明と次回診療予約をした。コロナの自主管理の説明もされ

たので、マスクと消毒剤を病院の売店で見つけて(ここにはあるんだ)購入したことをDr.に報告して見てもらった。

ご近所の調剤薬局で薬を受け取ったとき、担当の医師を推薦されていた。学会や研究会で一緒に機会があるらしく、人柄や研究に尊敬されている様子だった。私も診療以外のことで少し話すこともあるし十分尊敬しているので何となくうれしく安心した。

**毎日小さな庭の手入れ**をした結果、とげのあるユズ2鉢、杉の木2mの花粉が飛ぶのを見て、これは花粉症の元と思い全葉先をカットした。蝶の卵その他害虫退治に穀物酢を薄めたものや、害虫よけをかけるのを、植木達は何と意思しているであろうか? 午前、午後にユズ、マグノリアにつく蝶の卵や害虫取りをする。ローズマリーの枝ぶりを直す日時が掛かった。5束壁に吊り下げたが、他は使い道が分からないまま冷凍庫に、乾燥の葉だけは瓶に保存中。

**学習の機会**があるのにテキストを購入したものの拾い読みのみ進まない。もっぱらTVやPCでの内外の歴史、音楽、旅行をしているが、早く教室で聴き学ぶ講義が待ち遠しい。

**身辺の片付け**は小さい問題も一度では済まない。決断がつかなくて同じ所を何度か往復している。大きな問題は銀行からもアドバイスがあるが出来ていない。

**ストレス**はいたたまれない程には感じていない。他国の騒動の様な気持ちはない。

裕福ではないが、自粛は出来ている。多種多様な機関で働き協力してくださっている方々に感謝し、この状況から脱却出来るよう願っている。

(2020.6.1 原稿受領)

いきいきシニア  
コロナのくらし

# パズル漬けの生活

研究生 橋本 秀明

コロナウイルス禍により、コーラス・カラオケ・ウォーキングクラブなど尽く中止。さてどうしたものかと思っていたところ、筆者にはパズルがありました。ギャンブルはやりません。買物は週2回。毎日午前中は読書と何らかのパズル、午後は時々ウォーキング・サイクリング、古いドラマ・映画、週3回行きつけの居酒屋に。パズルは若い頃から好きで、所持しているパズルをここに紹介します(順不同)。

## 1. アメリカ Thinkfun 社の頭脳挑戦ゲーム

- (1) リバークロッシング
- (2) ティップオーバー
- (3) ルナロックアウト
- (4) フリップイット
- (5) ストーマシーズ

何れも初級・中級・上級・エキスパートの各10問計40問。(3)(4)(5)は日本のパズル作家の制作。好きなパズルは(1)(3)、(5)は難しい。

## 2. ペントミノ

正方形5個をくっつけあった12種を6×10の枠に収めるもの。コンピューターで出した解は2337通り。所持しているのは木製の星座を象ったものだが、今販売しているかどうか。

この変形がフランス生まれの KATAMINO。こちらは5×12の枠に収めるもの。

日本生まれのアポロという大型パズル。14種9×9の枠に収めるが、コンピューターで出した解が14973通り。シルエットを楽しむため242の問題付きが販売されている。

## 3. タングラム系

日本では構成が異なるラッキーパズルというパズルがあって、子供の頃よく遊んだものだった。今でもあるのでは。所持しているのはタン

グラムとフェニックス。種々のバリエーションのパズルが販売されている。

## 4. タントリックス

ニュージーランド生まれの新しいパズル。ベークライトで作られた板(コーン)6角形10枚セットで、表に赤青黄色の直線・曲線、裏にどの色でループを構成するか指示。3枚以上から始める。指示された色以外も繋がっていることが要件。10枚セットを順に積み上げて大きなループを作ることができる。120枚の例もある。所持しているのはリカバリ Dx とゲームパック。日本ではマニアのみで殆ど知られていないのでは。

## 5. 詰将棋・詰碁・チェスプロブレム

これらもパズルの一種として捉えている。将棋盤・碁盤はあっても書籍がない。若い頃にはよく指したものだ。チェス盤とチェス問題集他2冊の書籍を所持していて、久方ぶりに取り組んでいる。将棋と異なった面白さがある。

## 6. スライドパズル

子供の頃15ゲームという4×4の枠内1~15をきちんと並べるといふパズルがあり、これもよく遊んだもの。所持しているのは牛の牧場(牛を柵の中に入れる)。面倒くさい。



## 7. 算数・数学パズル

算数も数学も嫌い。何故か家にはその関係の書籍が沢山ある。英語の嫌いな方が英語関連の書籍を多く持っているようなもの。でもパズル

と思えば結構楽しめる。

## 8. トランプ

一人遊びのゲームは西洋では昔からあって、これもパズルである。

PCで楽しむゲームもあるが、カードを切って並べ頭を使う方がもっと楽しめる。

朝日新聞社発行『トランプ』には88種の一人遊びのゲームが掲載されている。好きなゲームの例を挙げる。

四人の仲間・籠城・蜘蛛(スパイダー)他

以下は、定期的に刊行される雑誌、書籍の紹介です。

## 9. ナンプレまたは数独

殆どの方がご存じのパズル。筆者は新聞に掲載されているような問題は簡単すぎてやらず。超難問のみ取り組み。超難問に挑戦してみたい方は以下の書籍がお勧め。試行錯誤なくすべて論理的に解ける問題である。

永岡書店発行『超難問ナンプレプレミアム145選』(多くの問題集あり)

上記以外に、(株)ニコリ発行の『カックロ・スリザーリンク』もお勧め。

## 10. 漢字パズル

筆者は20年以上前から取り組んでいる。

多くの月刊誌が出版されていて、どれを選んだらよいか判らない方に以下の雑誌がお勧め。

学研発行『ナンパラ』『ナンパラスペシャル』但し、2~5段階のレベルがあり、段階5はかなり難しい。初心者には『漢字道』を。

最後にクイズを一つ、元研究生から出されたものですが、筆者はすぐに解りました。

(問題) OTTFSSSENT これは何?

(おまけのヒント) ETTFSSSENT

パズルを楽しみましょう。

(2020.5.28 原稿受領)

# あるある川柳

研究生 酒井恵理子

友達から送ってきた あるある川柳です。  
笑って免疫力をつけてください!!

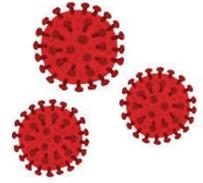
- ◆ 延命は 不要と書いて 医者通い
- ◆ 三時間 待って病名『加齢』です
- ◆ 目覚ましの ベルはまだかと 起きて待つ
- ◆ 留守電に『ゆっくりしゃべれ』と どなる父
- ◆ いい夫婦 今じゃどうでも いい夫婦
- ◆ わか作り 席をゆずられ ムダを知り
- ◆ 未練ない 言うが地獄で 先に逃げ
- ◆ 名が出ない(あれ)(これ)(それ)で用を足す
- ◆ 探し物 やっと探して 置き忘れ
- ◆ 歳重ね もう食べられぬ 豆の数
- ◆ できました 老人会の 青年部
- ◆ LED 使い切るまで ない寿命
- ◆ 立ち上がり 用事忘れて また座る
- ◆ 無農薬 こだわりながら 薬漬
- ◆ 妖精と 呼ばれた妻が 妖怪に
- ◆ 眼薬を 差すのになぜか 口を開け
- ◆ 景色より トイレが気になる 観光地
- ◆ 妻旅行 おれは入院 ねこホテル
- ◆ (こないだ)と 50年前の 話する
- ◆ 深刻は 情報漏れより 尿の漏れ
- ◆ 良い医者を 待合室で 教えられ
- ◆ 腰よりも 口につけたい 万歩計
- ◆ 何回も 話したはずだが『初耳だ』
- ◆ 孫帰り 妻とひっそり 茶づけ食う
- ◆ 婆さんよ 犬への愛を 少しくれ

(2020.4.20 受領)

&lt;ざっきちょうから&gt;

## 我が家のコロナ騒動

研究生 金森扶美子



2020年3月12日夕方6時過ぎ、長男からラインで38度の熱が出たとの連絡。こりゃ、えらいこっちゃ、コロナ感染!?

仕事で二次感染してるかもしれない人と接触したそう。ちょうど世の中コロナ感染でPCR検査が受けれる受けれないで騒がれたところだ。早速保健所に電話をするが、時間外で繋がらない。

翌朝13日、なんとか繋がり、最寄りの医者と相談してついでにレントゲンも撮るよとの指示。長男に伝えると、昨夜飲んだ頓服で熱は下がったから病院へは行かない。行ってもPCR検査は受けられない。俺が罹ってるわけがないと三段論法で言い張り、口論となる。

だが私としては10日に彼に会い、11日には友達とお茶してるし、12日には次男とランチを共にしている。ひよっとすると隠れ感染者との接触者になる。次男に連絡すると、ヤバイから兄に病院へ行くように勧めてくれという。

間の悪いことに富山の兄から義姉が危篤なので来て欲しいとの連絡。姉に大阪の事情を相談すると富山は感染者ゼロだから来てくれるな、そして長男に病院に行くよう説得せよと激しく言われる。昨日口論になって気が進まないが自分自身もはっきりしたいので再度熱がなくとも病院に行くように言うが、また頑固に断られる。ええい、依怙地な男だ!

次男にその旨伝え、あんたの育て方が悪かったのだとのたまう。私の育て方が悪かったと? なんだそれは! 自分では気が付いていないだろうが……と続く。傷つくことを言うなあ、今夜眠れないじゃん! でメールで、じゃあ、私の育て方が悪かったのなら、君たちはそんなに悪い子か? 返事は、悪い子ではありませんと返ってきた。まあ、いいっか!

ついでに長男にも保健所の指示通りにしてほしいと言っただけで、PCR検査を受けろと言った覚えはない。それは医者が決めること、とラインをしておく。

さて、これでちょっと気がやすまったので顔でも洗うかと立ち上がった途端、バターンと板が床に思いっきり倒れたような音がした。何事? 気が付いたら自分が顔面から倒れていて、テラコッタタイルで打った左おでこには大きなコブ、鼻も打ったらしく鼻血も出てる。幸い鼻の骨は大丈夫だ。両膝も痛い。なんでこの期に及んでこんな目に! なんのバチがあたったのか? ハタと考えたら関係ないけど今日は13日の金曜日だ!?

翌日、昨夜おでこを氷で冷やして寝たので、なんとか不様ではないが、ワオ、両眼の周りがパンチを食らったみたいに赤アザになっている。また次の日には両眼の下が青アザになっていた。なんでも血が下におりてくる症状なのだそう。

その後18日に亡くなった義姉の葬儀にまだコロナの疑いから解放されたわけではないので、恐る恐るマスクとサングラスで富山へ出かけた。お腹の調子も悪かったが、口に出すわけにはいかなかった。

4月初めまでは心落ち着かない日々を過ごすことになったが、結果的には誰にも何事もなかったことには救われた。まことに散々な3月の我が家のコロナ騒動であった。

3月には感染者ゼロだった富山県も、私のせいではないけれど、5月には200名以上にも拡がっている。

あゝ、コロナ禍よ! 早く鎮まることを祈るのみだが……難しいだろうなあ。

(2020.5.19 原稿受領)



# 街角・貼紙ウォッチング

## 臨時休業のお知らせ

文学歴史学科2年 河田かつのぶ

新型コロナでの緊急事態宣言が出された中、不要不急の外出自粛を要請されていますが、人ごみを避けて4月末、神戸・新開地から、歩いて鳥原水源地をめざし、「神戸の台所」と呼ばれる300店を超える商店街を外し、人ごみを避けて歩きました。この日歩いたのはおよそ17000歩で、チョット疲れしました。

ブラブラ歩いていると、自然と臨時休業の貼紙が目に入りました。皆さん苦しんでいるようで、自粛を要請されて臨時休業を余儀なくされている店の貼紙が溢れていました。

「貼紙」には、「お知らせ」のほか、さまざまな「悔しさ」や「あきらめ」、そして「いたわり」「希望」を感じるものがありました。6月のものも含めて、そのいくつかを紹介します。

●**ポートピア・舟券売り場** 臨時休業のいきさつや、払い戻し金などの諸注意がいっぱい（写真下：左）。

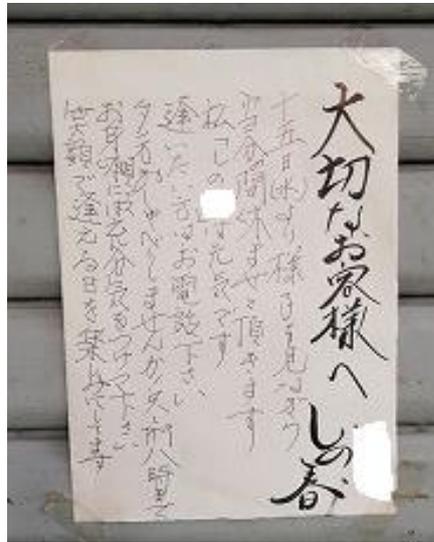
●**中規模病院** 発熱外来はないが、発熱者・かぜの者は別入り口からの指示（写真下：右）。



●**兵庫区役所** わかりやすいですが、味がないですね。



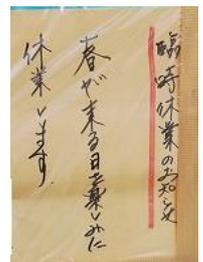
●**スナック しの〇**



・・・「私『しの〇』は元気です。逢いたい方はお電話下さい。夕方お喋りしませんか！只しPM8時まで。お身体には充分気をつけて下さい。笑顔で逢える日を楽しみに・・・」  
な～んて。

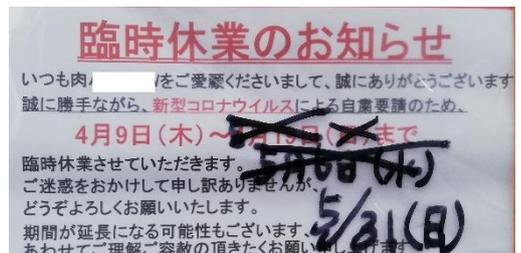
●**持ち帰り 唐揚げ屋** 「一日でも早く普通の生活に戻ることを願うばかりです。皆さまもいろいろ大変な・・・」。

（写真略）



●**居酒屋** 「春が来るのを楽しみに 休業します」。この気持ちを裏切ってほしくないね。

●**焼肉店** 4月9日から何度も休業日を書き換えています。



●**洋食屋** 6月10日現在までずっと「しばらく休みます」が続いています。



(2020.6.9 原稿受領)

コロナ騒動の中 メールで

繋がる、励ます、シェアする

国際文化学科 16 期生有志

それは一通のメールから始まった

●園田国際文化学科 16 期生の皆様へ

大変な時代になってきましたね。老いの坂を穏やかに暮らしてゆけるかと思っていたのに、世界的規模の疫病の流行に見舞われるなんて。でも、逆に考えると、100年にあるかないかの貴重な体験かもしれませんね。それにしても、コロナと戦ってくれている阪大病院で、防護服が足りなくて雨合羽を集めているというニュースには、驚きを通り越して怒りを覚えました。役に立たない『アホノマスク』に使ったという〇〇百億円で、防護服や人工呼吸器を準備していたら……。

添付した平野先生(元阪大総長・免疫学教授)のレポートによると、この感染症が完全に収束するには早くても1~2年かかるそうですから、当分の間、みなさんにお会いすることはできないでしょう。ぜひ近況報告や情報交換など『全員に返信』でお願いします。コロナに負けず、頑張りましょう。(MM さん)

繋がる、励ます

●元気な声をありがとう、日頃の私の思いを言ってくださりととても熱くなっています。闘病しながらの日々は何かと不便なことですね。お互いに心はしっかりと繋がっています。とても励みになってきました。(TK さん)

●コロナに負けず元気にお過ごしのこと喜ばしく思っています。私も大好きな山にも行けず近所を散策しています。当分の間再開のめども立ちませんのでコロナ太りを解消したいと思って

います。元気でお会いできる日を楽しみにお待ちしております。(TK さん)

●こんな事が起きるなんて思いもよりませんでした。平凡な毎日がどんなにありがたいものか、よくわかりました。趣味の社交ダンスも今はできず、退屈しています。早く皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。お体に気を付けてくださいね。(MK さん)

●メール無事届きました😊。新緑の写真を見たら山へ行きたくなりました。私も出来るだけ歩くようにしていますが30分位です😊。頑張ってみます👊(SK さん)

●私もテニス、バドミントンが休講で、近所の散歩、読書の毎日です。先日のKKさんのメールにありましたが、私も「烏原貯水場」に先月、行ってきました。この貯水場は、明治時代の神戸の3大土木工事の一つで明治34年に完成しています。私の家からだ、約16,000歩、新緑がとても綺麗でした。あと、2つは、「湊川隧道」「兵庫運河」です。皆さん、早く逢えるようになればと思っています。(EK さん)

●最初はコロナがこんなに大変な事になるとは思っていませんでした。皆な自粛して街から人が消えました！少しずつ解除になってもシニアは気をつけましょうね！今は自宅で本を読んだり、テニス🎾が出来るようになった時の為にウォーキングをしたり毎日です。皆さま、引き続き気をつけてお過ごし下さい🌸(MT さん)

●昨日は少し遠出の散歩で、バラ公園に行ってきました



まっ盛りで、あたり一面甘い香りが漂っていました。さわやかな風に吹かれて、心豊かな気持ちになりました。一時の心のオアシスを味わいました。(SMさん)

●メール、届きました。いつまでも長老です。元気です。今日は、ひらどつづじとゆきやなぎの剪定、思い切りハサミ、来年、花が咲かないかも。(RIさん)

## シェアする

●家の片付けをしていたら、カミュの「ペスト」を発見！読んだ事もすっかり忘れていました(笑)中を開けると字が小さい(笑)昔の新潮文庫なので紙は変色し文字もかすれています。歳のせいでこちらの目もかすれ(笑)でも図書館も本屋も休みなので読むことにしました。まだ始めの方だけですが、やはり面白い!! 194\*年フランス植民地下のアルジェリアの何の変哲もない街。ネズミの大量死の後、それが収まったので皆ホッとただけ?.....これからが楽しみです(笑)皆様もお身体大切に。(Keさん)

●コロナ禍はいろんなところに影響を及ぼしていますね。個人的には園田を5月の連休明けまで休もうと思っていましたが、そんなことは関係なく、あちらから「前期は、お休み」なんて言われて戸惑いました。

店が閉まった、学校が閉まった等などで、街や交通機関はひっそりとしています。閉まったはいいが、「#お家にいよう」なんて言われて、家でじっとしている訳にもいかず、「アレコレやっても限界で一す」、なんて声が行き交っているかと思いきや、皆さんからステキな情報をいただきました。なんだか元気とやる気がでてきました。(KKさん)

●日本では『ソーシャルディスタンス』というカタカナが定着してしまったようですが、WHOが“Social distancing”⇒“Physical distancing”に言葉を変えましたね。専門用語

ですが、今度の言いかえでその意味がよくわかりました。感染を防ぐために、物理的な距離を取らないといけないけれど、社会から距離を取ったら、孤立してコロナに負けてしまう。皆さんとの繋がりを大切にしましょう。(MMさん)

●予想はしていましたが、夏の高校野球も中止になりました。球場から4、5分の所に住んでいます。マンションから風船が上がるのが見え、歓声も聞こえます。迷惑な事も多々あります。そしてシーズンが終わると本当に静かになります。でもそのうち寂しさを感じるようになるのです。そんなところに春の選抜野球が始まるはずでした。でも今年は静かなままです。お土産

物屋さんどうしておられるのでしょうか(笑) 球場の隣のスサノオ神社ー私達の氏神様ですーにお詣りしたらこんな絵馬がありました。(Keさん)



●大阪・京都・兵庫は緊急事態宣言が解除されたようですね。これからいい方へ向いていくことを願うばかりです。山梨は一足先に解除になりましたが、人の動きはまだまだです。

家の裏の牧草地に堆肥が積み上げられていました。それを半日かけて一面にまいていました。娘と3歳の孫と私で見に行きました。

解除とは言えご用心を!!!

(KKさん)



\*紙数の都合上、メールの割愛、中途半端な引用など、お許しください。(文章構成: 河田かつのぶ、松原光治)



# 「ボヤキは元気のもと」メール

編集クラブ限定メール 一部公開

『けやき便り』編集部

『けやき便り』編集クラブでは、こういう時こそメールでつながろうと、下の4月30日メールを起点に、「ボヤキ」交換が始まりました。

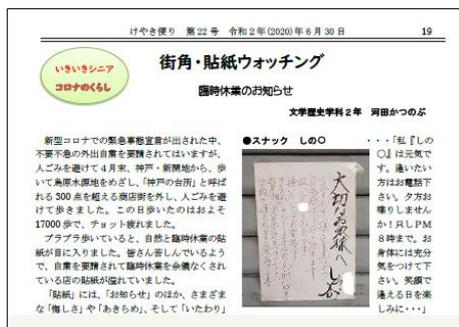
■4月30日 編集クラブの皆さまへ …メンバー間の自由なつづやき交換を、本メール上で行いませんか(「電子版」用にというわけではないのですが…)。短文でもつづやきでも川柳でも、…気づきや発見などなど分野問いません、何でもボヤキまくってください。本メールを起点に、次々に「全員に返信」して追加いただければと思います。…櫻井秀也

■5月1日 …主人に友達が送ってきたメールが面白かったのでお送りします。俳句仲間の俄か自虐川柳集 これもある種の老人パワー! まだまだ捨てたもんじゃあござんせん!

- ・デザートは 昔ケーキで いま薬
- ・紙とペン 探してる間に 句を忘れ
- ・誕生日 ローソク吹いて 立ち眩み
- ・カード増え 暗証番号 裏に書き
- ・忘れえぬ 人はいるけど 名を忘れ
- ・お若いと 言われて帽子 脱ぎそびれ
- ・改札を 通れずよく見りゃ 診察券
- ・この頃は 話しも入れ歯も 噛み合わず

☆平田好子♪

■5月4日 …人ごみを避けて先日、神戸・新開地から、歩いて鳥原水源地をめざしまし…自宅まで戻ってきました。…ブラブラ歩いていると、臨時休業の貼紙が目に入りました。皆さん苦しんでいるようで、自粛を要請されて臨時休



業を余儀なくされている店の貼紙が溢れていました。河田かつのぶ (別稿あり)

■5月10日 …私は学校が長期休暇のうえ外出自粛となり引きこもり生活で…すっかり真面目な家庭人になっておりま〜す (笑)…このコロナ禍の中、何をしていたかと言いますと、3月は我が家に

“コロナ騒動”があつて、ストレスいっぱいの日々。これは大変だった。4月に入

って、布地が沢山あるのでマスク作りを思い立ちセッセとミシンを踏んだのですが、世の中のみなさん思うことは同じとみえ、あちこち探したけどゴムが手に入らない。18枚で頓挫。アベノマスク (これは笑っちゃいますね) よりましかも。… (この項に関して、別稿あり)

あの～、あの「オンライン」とかいうのはどうやってできるんですか? …金森扶美子

■5月11日 金森さんの「オンライン」は、スマホやパソコンで行うおしゃべり会や飲み会のことではないでしょうか。在宅勤務やオンライン授業が増えている中で、仲間と顔を見ながらネット上で会話を楽しむ人も増えています。テレビ電話で定番的な「スカイプ」に加え、「ライン」や、最近は、「たぐのむ」とか飲み会を意識したものなど、多くのソフトがあります。

私も先日スカイプを使って5人で飲み会を試行しました。…まずまず楽しめました。…  
櫻井秀也

■5月11日 …私は先日初めてZOOMで歌のオンラインレッスンを受けました。…軽音のシスターズがお世話になっている歌の先生で、1対



1でのレッスンです。

…まず日にちと時間をお互いに決めておきます。すると先生からメールでアドレスとIDナンバーとパスワードが送られてきます。その決めた時間の30分前からソワソワドキドキして時計とにらめっこの状態。

さあ～時間になったと震える手でIDとパスワードを入力して次の画面で参加をタップしたら先生の顔が横向きになっていました。私のスマホが横になっていたの縦にしてくださいとのこと。縦にしようとしたら手が滑って床にガシャン！と落ちてしまい画面が真っ黒に…。焦りまくってどうしようと思い真っ黒な画面を横にスライドしたら先生の顔が映りホット…。そこから発声練習と歌の練習をしてあっという間の30分が過ぎました。

終わった後は緊張から一気に脱力感でへとへとになってしまいました。これが私のZOOM初体験の模様です。…☆平田好子♪

■5月12日 メール、楽しく拝見しています。…オンライン講座もできませんので、学業休業後のボヤキを聞いてください。

第一段階 暇になり 痛いところ 探してる  
第二段階 知事ばかり 目立つTVの ワイドショー …次はもっと笑えるボヤキがしたいですね。木下俊造 (別稿あり)

■5月12日 料理、裁縫、歌のレッスン、川柳など、皆さんそれぞれ腕をふるい、磨きをかけておられる様子が、すばらしいですね。文歴の田中祐二さんから、4月からNHKカルチャーラジオの「漢詩を読む」を聴き始めたとお聞きしました (田中さんの別稿あり)。

今回の私の「コロナチャンス」ですが、それはNHK「100分de名著」です。この番組のファンの方もおられるかもしれません。この機に、とばかり、テキストを揃えたり、



オンデマンドに契約して番組の初期から見始めました。番組のキャッチコピーは「誰もが一度は読んでみたいと思いつつも、なかなか手に取ることができない名著を、25分×4回、つまり100分でわかりやすく読み解く」です。

読書下手な私には助かります。番組では2010年から約100のタイトルが紹介されています。フランクル「夜と霧」、芭蕉「奥の細道」、トルストイ「戦争と平和」、孔子「論語」、モンゴメリ「赤毛のアン」などなど硬軟多彩で、それぞれがなにがしかの発見を与えてくれます。問題はすぐ忘れることですが (悲しい)。ただ、はやくも進捗が鈍ってきたので、制覇は夢の夢…

3密と言われても仕方ないタコとワイン (編集会議後の飲み会) ですが…はやく再開できますように。櫻井秀也

■5月14日 私の变な思い付きです。ふと、コロナが落ち着いてからしばらくして、「今思うと、それなりに懐かしい気がする。貴重な経験だったとも言えるよね」という言葉が聞こえてくる日がくるのかもしれない、などと思いました。もちろん、コロナで仕事や生活を直撃された方、苦しい思いをされた方々にとっては、悪夢でしかないので大変申し訳ないのですが。

自粛で自宅にこもる日々を送るシニアの方々には、コロナ前の喧騒感あふれた周囲、気になる世間や人づき合い、毎日の行動チェックなどから解放されて、家で過ごす単調な時間の中で、意外と静かな落ち着きを感じたり、こういう時だからこそ集中して取り組める対象を見つけたり、さまざまな発見があった方も多いのではないのでしょうか。

私自身、日常よ、早く帰ってこい、と願いつつ、気持ちの変化にも気づきました。前に木下さんが、どれが日常なのか、というようなことを言われていましたが、案外「コロナ前の日常だけが日常でもなかったのかも」と振り返ることもあるかもしれません。もちろん、学校は早くいきたいし、皆さんと話したい、飲みたい気持ちは全然変わってないのですが。皆さんはいかがでしょう？ 櫻井秀也

■5月14日 ちょうど一か月前にいただいたメールでの返信になりますが…状況に少し変化があり、ボヤキも少しはホッとするものも思いましたが、やはり単なるボヤキが多かったようです。



高校野球やプロ野球にサッカーも動きがあり 「夢叶う 年に一度の 甲子園」 …木下俊造 (別稿あり)

■5月15日 …コロナ禍 自粛貼紙の第二段です。…商いをする人たちの「苦労」だけでなく、けなげさやたくましさも感じます…河田かつのぶ (別稿あり)

■5月16日 …休業案内の貼り紙は、一言二言の挨拶ですが…こうした言葉とか文章や表現の仕方には、短いなかでも、その人となりかにじみ出るものなのですね、緊急事態が解除されて、これからの回復速度はどうなのでしょう。… 櫻井秀也

■5月16日 自粛の巣籠りをしています@藤原です。巣籠りをしてもボヤキがでてきます。

ボヤキその① 体と同じく身の周りの機器が故障していきます。掃除機、プリンターなど10万円の使い道が指定されました。

ボヤキその② 新緑の季節。風をきり出歩きたい季節なのに家に籠りなさいとのご命令です。以上が藤原のボヤキです。皆様は如何お過ごしですか。藤原多計治

■5月22日 どうしてこんなに、ボヤキの種が尽きないのでしょうか。変な世の中に、変なおじさんもビックリ。

検事長辞任の意向 検事長を応援! 「退職金 もらって当然 手切れ金」

バッハ会長「五輪中止」発言 「アドバルーン またまたあがり ぞっとする」…木下俊造 (別稿あり)

■5月24日 …自粛生活と言っても私の場合は毎日が忙しくてしょうがありません。…友人

所有の竹の子畑に竹の子採りに誘っていただき…近所や友人宅、娘たちの所に配り…毎日竹の子ご飯や、竹の子のホイル焼き…など色々な竹の子料理を作って美味しく食べました。…今度はこの時期になると我が家のマーマレード作りが始まります。☆平田好子♪ (別稿あり)

■5月25日 …マーマレードと聞くと、ワインやウィスキーのつまみとして好きな「オレンジピール+チョコレート」を思



い浮かべます(ちょっと違うけど)。マーマレードもクラッカーやチョコと一緒に食べたら、よいつまみになると思うからです。平田さんのおすそ分け圏内のご近所でなくて残念です。すぐ酒と結びつけてしまう櫻井秀也

■6月18日 …木下さんが言われた日常、非日常について、私事ですが最近気が付いたことがあります。

コロナ禍による自粛生活(朝起きて、3度の食事を取り、夜になったら寝る。日用品の買い物以外は何処にも出かけず、誰とも会わない)ですが私にとって10年後はこういう生活になっているんじゃないかということです。(それまで元気であればですが)

今でこそいろいろなことをしていますが、私の年齢からすると10年後までには全てリタイアしているでしょう。そういうふうにと考えると今回の自粛生活というのは特別なことではなく、これから先もあること(日常)なんだと思うようになった次第です。高山純子

\*メールの一部を省略しています。  
 \*何人かのメールを割愛しています。  
 \*メールから別稿ありとして、独立させ掲載したものがありません(「ボヤキが元気の元」とメールに寄せた「川柳」や「竹の子とマーマレード」など)。その一部を参考としてこの記事内に縮小して掲載しています。ぜひ本文をお読みください。  
 (文章構成: 河田かつのぶ)

いきいきシニア  
コロナのくらし

## 「ボヤキは元気の元」メールに寄せた

# 川 柳

研究生 木下 俊造

### ■5月12日

学業休業後のボヤキを聞いてください。

#### 第一段階

暇になり 痛いところ 探してる  
痛いのが いつものところ ホットする  
雑草が 暇つぶしの お友だち  
雑草が 伸びるほどには 髪伸びず  
今日できる 用事は半分 明日回し  
今わかる 不要不急の ありがたさ  
シニアたち 不要不急で 花が咲く  
感謝する 不要不急の 家事仕事

#### 第二段階

知事ばかり 目立つTVの ワイドショー  
リーマンを 超えるショックも 税減らず  
感染が 増えれば先生 静かなり  
顎が出る マスク配れば 足が出る  
布マスク 配るついでに 10万も  
給付金 人の金でも 出し惜しむ

#### 第三段階

専門家 責任とるのは 専門外  
感染が 減れば情報 密になり  
感染が 減ると先生 声高に

#### 番外

定年を 伸ばす法律 誰のため  
これからも ボヤキメールで 助けられ

### ■5月22日

#### 検事長辞任の意向

検事長を応援！

退職金 もらって当然 手切れ金  
尻尾切り 次はどなたの 番がくる

IR 賭けマージャンの 比ではなし  
賭けマージャン 推定無罪 自白のみ

#### バッハ会長「五輪中止」発言

アドバルーン またまたあがり ぞっとする

#### 首相告発

桜見て 新型コロナで 悪夢見る

#### たまには、いい話も

再開の コートで弾む 球に声  
プランター キュウリ・ピーマン ネギ密に  
家事仕事 自粛期間で 板につき

### ■6月14日

#### 高校野球やプロ野球にサッカーも動きがあり

夢叶う 年に一度の 甲子園  
甲子園 球児にエール 夢と砂  
無観客 ボールの音に 胸弾む

#### 持続化給付金や諸々

トンネルを 抜けるとそこは 電通だった  
給付金 配る幽霊 また不在  
幽霊が 姿あらかず 釈明に  
経産省 計算済の 再委託  
買収で 夫妻ともに 可愛そう

#### おまけ

再放送 見飽きた頃が 自粛明け  
自粛明け クリーンマイクで 歌い初め

いきいきシニア  
コロナのくらし

## 竹の子とマーマレード

研究生 平田 好子

緊急事態宣言が解除されましたが、まだ不安な気持ちをかかえながら自粛生活の日々を過ごされているのではないのでしょうか。

自粛生活と言っても私の場合は毎日が忙しくてしょうがありません。

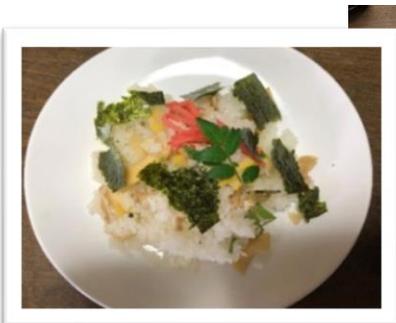
今年は幸運にも4月下旬と5月の初旬の2回にわたって、友人所有の竹の子畑に竹の子を取りに誘っていただき、山のように竹の子を取らせていただきました。



その都度帰ってから、近所や友人宅、娘たちのところに配り、自宅用は大きなお鍋で何回も



茹でて冷蔵庫には入りきれないほど詰め込んで、毎日竹の子ご飯や、竹の子のホイル焼き、バター焼き、竹の子の若竹煮、竹の子寿司など色々な竹の子料理を作って美味しく食べました。



これが一段落したと思えば、今度はこの時期になると我が家のマーマレード作りが始まります。

作り方は夏ミカンの皮と実を分けて種を取りのぞき皮は薄く切って水に晒しアク抜きをして、今度は実と皮を一緒に入れ圧力鍋で柔らかくし、これを厚手のお鍋に移し変えてお砂糖を入れてとろりとなるまで時間をかけて煮込みます。この手間のかかる作業が一週間ほどかかり、今年是一年間分のマーマレードが出来ました。



もちろんこれも娘たちの所、親戚、知人宅におすそ分けをしました。

今やっとゆつくりと出来るかなと思いきや、今まで自粛していた娘たちが孫を連れて遊びに来ています。

コロナ太りは気になりますが、お陰様でコロナストレスは感じないで過ごしています。

(2020.5.24 原稿受領)

## ラグビー笑劇場

研究生 木下 俊造

ラグビースクールの指導を始め48年、多くの子供たちから元気はもちろん、タックルならぬ衝撃と笑劇もタップリいただいています。

衝撃① 10年前、突然「先生、孫がお世話になりますのでよろしく」、その声に振り向けば教え子のお父さん、親子2代の指導になるとは、想定外のショックでした。

笑劇② ある年の夏合宿で小2スクール生と練習中、これも突然「先生は奥さんおるか？」と聞かれ、思わず「おるで！」と答えたものの、その後の展開がどうなるか不安でしたが、「ふ～ん、そうか」でジ・エンドになり、一安心。なぜかふと気になったのですが、この彼と衝撃の彼も、今年高校へ入学しました。

笑劇③ 幼児と試合形式の練習で、適当に流すと「真剣にやれ!」、気合を入れていくと「大人が本気出すな!」、一体どうすればいいんや。今、小4の彼はエースになっています。

2020年から新たな制約はあるでしょうが、ワールドカップ大躍進のおかげで、例年よりメンバーも増え、笑劇場の続編が楽しみです。

(2020.5.31 原稿受領)

## 「映画を鑑賞する会」

### 同好会結成のお知らせ

映画を観ることは、もう一人の自分を発見することかもしれません。映画の素敵さを熱く語り合い、確かめ合ひましょう。まずは、家での鑑賞から始めます。

(学園には未申請の同好会です)

代表 山田 伊織 (文歴3年)

連絡先 田中 祐二 (文歴2年)

eidoku0121@yahoo.co.jp

## 閑話三題

研究生 合田 一弘

### ATM (?)

郵便局でATMにカードを入れたら「このカードは使えません」と、2～3回言われました。局員のところへ行って「何で使われへんねん？」と聞いたら、うつむいてじっとカードを見つめていた局員が、ふと顔をあげて「お客様、これはSuicaです」?? 逃げるように帰ろうとした私の背中に「お客様」と呼びかけ、ふり返った私に大声で、「郵便局ではSuicaは扱っておりません!」……言われんでもわかってるわい……心の中で叫びました。

### 振り込め詐欺 (?)

学校から「研究生登録料」の返却手続きをするように通知が来ていたが、書類が見当たらない。遅れて迷惑をかけてもいけないと思い、あわてて再送の依頼をしたら、

「合田さん、一か月前に手続きはされていますよ!」と、言われた。「欲ボケ老人と思われたかな?」と、電話の横で一部始終を聞いていた妻に聞いたら、「まるで振り込め詐欺みたい」と私につぶやいた。結婚して45年、5000円で振り込み詐欺をする男と思われていたことがショックです。

### 学校閉鎖 (?)

四月の始め 孫三人(男ばかり)を連れて、評判の焼き肉食べ放題店に行きました。大人一人、小学生二人、幼稚園一人と店の人が確認した時、急に三男が「僕は小学校やで!」。エー?

「学校へ行ってないやろ」「入学式に行ったもん」エー?

入学式だけ行った小学校は、子供たちにどんな印象を与えているのか? 何となく不憫でした。

(2020.5.23 原稿受領)

# 「万葉集」と寅さん映画

文学歴史学科2年 田中 祐二

私は去年の4月にシニア専修コース文学歴史学科に入学し、日本古代文学の講座を受講致しました。前半は古事記、後半は万葉集に親しむ内容でしたが、特に万葉集の授業がとても面白く、とうとうハマってしまいました。

万葉集の和歌は、自然の景色に対する感動、美しい人を見ての恋愛感情、死んだ家族への悲嘆、一人赴任する心細さなど時代を超えて共感するものばかり！宮廷の歌人以外の無名な素人が素直に詠んだ歌も多く、読めば読むほどとても心をとらえられます。万葉集に親しむ事によって、日本人の心根が理解できたような気がしております。

私は感傷的な歌が好きなので、個人的に大変気に入った歌は「令和」で有名になった大伴旅人の次の2首です。

「生ける者 つひにも死ぬるものにあれば

この世なる間はたのしくをあらな

(生きている者も最後は必ず死ぬのだから せめてこの世にいる間は楽しくすごしたいものだ)

「験(しるし)なき 物を思わずは一杯(ひとつき)の 濁れる酒を飲むべくあるらし

(くよくよと甲斐のない物思いに耽るよりは、一杯の濁り酒を飲む方がよいらしい)



私は寅さん映画が大好きで、「男はつらいよ」シリーズ全48作品(実質)は勿論全て鑑賞済みです。高校時代の第12作「私の寅さん」からは、封切時の松竹系映画館で観ております。大学時代に、彼女をデートで寅さん映画に連

れていきましたら、とてもドン引きされ、その後見事にフラれました。(寅さんと全く同じ運命！)

ちなみに私の「男はつらいよ」シリーズのベスト3は次の通りです。

第1位：第38作

「知床慕情」

第2位：第32作

「口笛を吹く寅次郎」

第3位：第29作

「寅次郎 あじさいの恋」



文学歴史学科で万葉集に親しむことによって、なぜ寅さん映画がこんなに日本人に好かれるのか、改めて確認致しました。寅さん映画の人気要素ですが、まず挙げられるのが私たちの「自由人への憧れ」にあると思います。日頃、組織のルール・人間関係のしがらみに悩んでいる会社勤め人にとっては、寅さんの生き方がとても羨ましく感じている方が多いと思います。またその他の要素として「マドンナへの恋愛感情」「人と人との絆」「故郷への郷愁」などが挙げられます。寅さん映画の人気要素がすべて万葉集の和歌と重なっているのです。



やはり万葉集に流れている日本人の心根がしっかりと反映されているから、寅さん映画はいつまでも愛される作品となっているのではないのでしょうか。

※イラスト Bing images より (無料イラスト)

(2020.3.2 原稿受領)



## 映画『AI崩壊』 その日、AIが命の選別を始めた

研究生 三島 佳彦

『AI崩壊』、この映画はそう遠くない近未来2030年の日本では、少子高齢化の人材不足を補うために、医療AI「のぞみ」がさまざまな形で社会インフラと連携し、人々の生活に寄り添う形で存在していました。

それは、開発者の桐生（大沢たかお）が望んだ理想的なAIのありようだったのです。桐生はもともとAIの共同研究者だった妻・望（松嶋菜々子）のガン治療のために、創薬AIを構築しようとしていましたが、残念ながらそれは認可に間に合いませんでした。望は娘を残して死去。

望の弟・悟（賀来賢人）は同じくAIの研究者で、「のぞみ」を管理運営するためにHOPE社を設立しました。

「いつか…認可が下りて、苦しんでいる…たくさんの人を救う日が…来ますように」

それは彼女の遺言でした。彼女の忘れ形見である娘の心（田牧そら）と桐生は、その全てを悟に託して、シンガポールにわたりました。

それから7年の歳月が流れたのです。今回桐生は、「のぞみ」の開発者として総理大臣賞を贈られることになったというメールを悟からもらい、心とともに日本に帰国したのです。

悟がHOPE社を立ち上げて国家規模のプロジェクトを推進して、今回千葉に最新のデータセンターを建設し、ようやく稼働する運びとなりました。そのオープニングセレモニーで桐生がスピーチをする予定も、もう一つの帰国の理由でした。帰国そして再会。

「のぞみ」は「医療AI」として日常生活の健康データや病院におけるカルテ、治療や投薬に関する情報の全てを集約して国内の病院の殆どを網羅しており、そこから始まって日常生活にまつわる電気・ガス・水道に次ぐ規模のインフラとして大きく成長していました。

しかし、久々に戻ってきた日本では、AIに反対する空気がありました。

現在は警察も捜査にAIのシステムを使用することを研究しており、専門家である警察庁理事官の桜庭（岩田剛典）はサイバー犯罪対策課において心血注いで、捜査AI「百眼」（ひゃくめ）という操作システムを構築していました。

セレモニーの場には桐生をリスペクトすると言った理事官の桜庭も来ていました。『「のぞみ」の技術を使わせてほしいという要請が桜庭からありました』という悟の言葉に驚いた桐生ですが、悟は「断りましたよ。『のぞみ』は人に寄り添うAIですからね」と話しました。

その時、突如「のぞみ」が暴走を開始。「のぞみ」が暴走し始めたことで、医療現場は誤作動や緊急停止によって大混乱が生じ、街中は走っている自動運転の乗用車や交通機関で交通事故が連鎖的に起こるなど、そのパニックは次第に全国規模になっていったのです。

なすすべもなく、それを見つめていた悟でしたが、事態に介入してきた桜庭たち警察官がその原因となる何かを見つけたのです。「のぞみ」の暴走は、不正かつ有害な動作を行う意図で作成された悪意あるソフト・マルウェア（MALWARE）の攻撃のためでした。逃れようのない事実には桜庭は持論と今回の動機を語りだしました。

少子高齢化で、日本はもう終わっている。だから生きる価値のないものを選別して何が悪いのかとうそぶくのです。「のぞみ」の擁する膨大な個人情報があれば、「百眼」に足りない学習を補い、日本中に完全な監視網を敷くことができる…かつて、桜庭は悟に協力を要請して断られており、合法的に「のぞみ」のデータを得るために、こんな大掛かりなテロを起こしたのです。

あとの最終結論はぜひ本をお読みください。

(2020.5.20 原稿受領)

## 園田の猪名川と藻川を歩こう

研究生 眞鍋 幸裕

園田地域は猪名川と藻川に囲まれた中洲状になっています。その堤防は遊歩道として整備されており、各所に案内板もあり、歩き易くなっています。藻川、猪名川各コース5kmで尼崎市内とは思えないくらい鳥や緑が多く自然が一杯です。是非皆さん一度歩きにおいで下さい。

阪急園田駅集合、さあ出発しましょう。

園田駅南側に出て100mも歩けば藻川の堤防に着き、視界が開けます。堤防を上流に向かって左岸を歩き園田橋と阪急電車の下を通り宮園橋の北詰に着きます。ここに最初の案内板があります。現在地と全体のコース、トイレの位置等を頭に入れておいて下さい。

このあたりの堤防には菜の花、土筆、クサフジ、すすき、彼岸花などの野草が見られ季節を感じながら歩けます。また水辺には鴨、白鷺、川鶉などが魚を捕っています。中園橋を過ぎると右側に田能西公園があり、ここには桜の木が沢山あります。上園橋を過ぎると地元の人達は銀橋と呼んでいる水道橋が見えてきます。

その右側に浄水場があり、左側には猪名寺廃寺跡(飛鳥から室町時代の寺)の森が見えます。そこから少し歩くと猪名川と藻川の分派点に着き、出発点から約4kmです。ここにも案内板があります。ここで一休み、吊り橋の神津大橋が見え、またこの辺りは桜並木が続き隠れた花見の名所です。



分岐点の桜と神津大橋

猪名川右岸を少し歩くと右側に農業公園があり、ここは梅、桜、花水木、牡丹、薔薇、花菖蒲など四季折々の花が観賞できます。またこの辺りは樹木が多く、望遠レンズを付けたカメラマンが野鳥を待っています。

その先に猪名川橋があり、ここでメインコ

ースとサブコースに分かれます。

まずサブコースは猪名川橋を渡り左岸を少し歩けば田能遺跡に着きます。ここは弥生時代の遺跡で竪穴住居、高床式倉庫等が復元されており、資料館も併設されています。(月曜日は休館)

前の道を1kmほどで千里川にぶつかり左に行くと伊丹空港の東の端で、飛行機が車輪を出し着陸する姿を真下から撮影でき、迫力があります。千里川沿いに下ると猪名川に合流し、その先の利倉橋を渡ると猪名川の右岸、メインコースに合流します。

メインコースは猪名川橋を渡らずに右岸を歩きます。右側に園田競馬場が見え、その先が猪名川公園で中を通り抜け正面入り口の所に猪名川自然林があり林の中に遊歩道が整備されています。その先に桜並木があり、また自然林が続きます。ここは昔の堤防、河川敷の跡でエノキ、ムクノキ、クスノキ等が茂り、樹齢数百年の巨木もあります。そこを抜けると猪名川右岸に出ます。ここから1.6kmで猪名川と藻川の合流点に着きます。ここには小島もあり見晴らしもよく、海が近いボラが水面を飛び跳ねる鳥も多い場所です。



合流点

ここから藻川の左岸を1.3km歩けば阪急園田駅に到着です。お疲れ様でした。

駅前には居酒屋他あります。一休みして行って下さい。桜の4月、薔薇の5月がお薦めですが、また季節を変えておいで下さい。

(2020.5.14 原稿受領)

# 新型コロナ対策の優等生「台湾」からの贈り物

研究生 阪田 正樹

## 1.台湾のコロナ対策

台湾では世界に先駆けて中国でのコロナ感染症を WHO に警告、報告をしたのですが、いち早く中国人の入国禁止をしました。(2月6日)

そして IT を駆使して国内の感染防止を行いました。結果マスク等の買い占めもなく、感染者は5月16日現在440人、死亡者は7人とどまっています。何よりも政府の指導者の素早さと、国民が政府を信頼していることに感心させられます。私は3月中旬に台湾に遊びに行く予定にしていたのですが、そのときはまだ台湾の旅行も可能でしたが、台湾の方に迷惑がかかる可能性があるのではとやむなくキャンセルしました。

3月19日には日本を含む外国人の入境の禁止をしました。元留学生の一人は日本で働きたいということで去年からビザの申請を行い、今年1月にやっとビザが降りて千葉に就職した途端にコロナ禍があり、待機しています。

## 2.台湾からの贈り物

もう一人の元留学生から私が自粛でスティホームということでたくさんのお菓子類を送って来てくれました。



送ってくれたお菓子の一部

台湾のコンビニ(セブンイレブン・ファミマ)でよく買ってホテルで台湾ビールと一緒に食べたことを思い出します。遠く離れていてもそのようなことをしてくれる元留学生に感謝、感謝です。

今はスティホームでテレビとお菓子で3キロも太りました。早くコロナ禍が終わり、園田学

園のシニア専修コースの授業と共に台湾への旅行が再開できたらいいですね。

ここで台湾旅行での穴場を紹介します。

## 3.台湾総統府の見学

台湾総統府は日本が統治していた時の台湾総督府の建物で、台湾の総統蔡英文さんが執務しているところです。



総統府の全景

平日なら予約なしで見学ができます。

もちろん無料です。台湾は寺院等も無料の処が多いです。

朝並んでいたら軍人さんがパスポートのチェックをし、日本人のグループに分けられて日本語でガイドがついて館内を案内してくれます。約1時間の説明後は自由行動です。台湾の歴史から現在、未来までを紹介しています。

お土産も充実しており、たくさん買ってしまいます。

場所は台北の中心の台北駅から徒歩圏内です。



館内での絵(蔡英文総統)と共に

(2020.5.19 原稿受領)

# 宇宙に最も近い種子島

国際文化学科2年 鈴木 好夫

ドラマ「下町ロケット」、映画「はやぶさ」で知られたJAXA種子島宇宙センターからは、毎年数回「HⅡロケット」の打ち上げが行われます。しかし日時は1、2カ月前にしか発表されず、その日も再三延期されます。

今年1月27日に予定された「HⅡA41号機」を見学に種子島に行きました。

種子島ではロケット打ち上げが発表されると、その日の前後は関係者、観光客が多くなり当然ながらホテル、交通機関の予約は満員になります。旅行社の2泊3日と0泊2日の緊急募集ツアーがあり、私が応募したのは島内観光付の2泊3日のツアーでしたが、ネット予約の受付開始後10分で満員となりました。

打ち上げの前日の早朝、新幹線さくらで鹿児島島へ、高速船乗り場でツアーに合流して種子島に渡りました。あいにくの雨模様の中、ツアーバスで「鉄砲館」や「門倉岬(鉄砲伝来地)」「千座の岩屋」などを観光しホテルに着きます。ホテルで、明日の打ち上げは天候不良により翌日に延期ですの連絡を受け、予想はしていましたが少しショックでした。ツアー2日目の予定も大きく変更になり、午前には種子島宇宙センターの関連施設、午後は周辺の観光地、夕方にロケットの機体移動(格納庫から発射場まで)の見学と臨機応変のツアーでした。



機体移動の時間が遅れていたため、予定になかった地元の「宝満神社」に参拝となりました。私達の後から、「下町ロケットでいう帝国重工」の作業服の方も10数名参拝されていました。日本の技術の粋を集めたHⅡロケットも最後は

「神頼みなんだ〜」と。

午後9時、満天の星空、暗闇の中、照明に照らされたロケットが格納庫から発射場までゆっくり移動していきます。僅か10分程度ですが、これだけでも充分感動します。



ツアー3日目の早朝、ホテルのドア下に1枚のチラシ「本日の打ち上げは中止になりました」。昨日今日と、こんなにいい天気なのになぜ?全員の希望により、打ち上げ見学場所に予定されていた「恵美之江展望公園」に行きましたが、駐車場には「本日の打ち上げ中止」の立て札がむなしくあり、昨夜の発射場からはロケットの姿は消えていました。

打ち上げ中止の理由は、天候でもロケットの機体異常でもなく、発射施設の不良であったとか。HⅡロケットの打上費用は約100億円、打ち上げ成功率は98%(47/48回)です。これを考えると、少しでも天候不良、設備や機体の不備があれば延期するのも納得できます。延期後のHⅡA41号機は、2月9日に打ち上げられ、無事成功しました。

5月にHⅡB9号機の打ち上げが予定され、4月に募集ツアーがありましたが、このご時世、見学自粛要請のためツアーが中止となりました。「こうのとりの」を搭載したHⅡB(最終機)は、5月21日に無事打ち上げられ成功しました。今年は、HⅡA、HⅢ(HⅡBの後継機)ロケットの打ち上げも予定されているようです。私としてはリベンジを予定していますが、興味のある方、ご一緒しませんか。

「下町ロケット」最後のシーンを思い出します。阿部寛の「ロケットはいいな〜」。

(2020.5.21 原稿受領)

# 西国三十三霊場巡礼

研究生 前田 守

巡礼に行くきっかけは、一昨年にNHKの朝のドラマ「半分青い」のロケ地を旅行で訪れた際に、近場の観光名所ということで第33番札所の華嚴寺を参拝したことでした。

西国巡礼については、友達をはじめ親戚などが経験し、以前から話としてよく聞いており関心は持っていましたが、自身がいざ回ろうというところまでの意識はありませんでした。

たまたま訪れた先が第33番の満願札所というのをその際に知りました。この寺が壮大で厳かですごく癒される思いがあり、しかも満願の寺ということで参拝者の表情に安堵感が感じられ、達成感で大変豊かな様を目の当たりにし感銘を受けました。

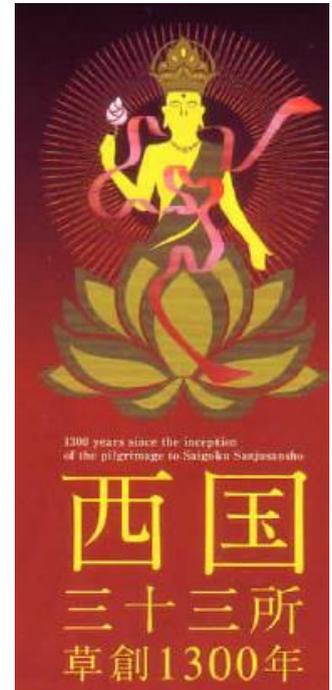


第33番 華嚴寺門前

そこで巡礼先に順序がないと伺い、それを機に巡礼旅を決意し即刻御朱印帳を買い求め、一番遠隔地であり、満願札所が最初の参拝先となる異例な私の巡礼旅が始まりました。

ご承知の方も多いたとは存じますが、この西国巡礼は草創1300年と数ある巡礼の中でも最も歴史が古いそうで、関西2府5県にわたり全行程が約930キロに及ぶ難行です。四国88か所巡礼のように一気に歩くお遍路さんという訳にもいきません。昔の人はこの広範囲にわたる寺を幾日もかけ歩いて回ったことなのでしょうが、私どもには到底想像もつかないことです。

ところで、私はまだこの巡礼の旅を終えた訳ではありません。現時点(令和2年3月末)で4か所を残しています。一気に回ってしまう手もありますが、ここは先人たちの苦労や思いを感じながらゆっくりとありがたみも噛みしめながら訪れたいと考えました。因みに、旅行社のツアー案内によりますと最短6日間で終わることが可能なようですが、私は基本自力(車)で回っています。



西国三十三所  
草創1300年ポスター

では、「なぜ巡礼旅をしているのか」であります。知り合いに巡礼の話をしめすと、よくこの質問を受けます。

人それぞれ考えがあり、目的も違うことと思いますが、私の場合は月並みですが「感謝」の意を表すためであります。無事元気に勤め上げることができました。家族が平穏に過ごせ、そしてこうして巡礼旅ができていることに対する感謝であります。昨今では御朱印集めがブームになっているようですが、私はそうした楽しみや観光目的でもよいと考えますし、そのことがきっかけで何か得るものがあればそれに越したことはないと感じています。

巡礼先で感じたことは、京都の清水寺、宝塚の中山寺のように名所古刹もありますが、よくもこんな不便な地に寺が設けられ、なぜ霊場先に選ばれたのかなどと考えてしまう寺もありま

す。特に、印象深いのは和泉市の第4番施福寺であり、第30番宝巖寺であります。前者は奥深い山の頂上、後者は琵琶湖の島に設けられています。修行という意味で考えるならば難所に設けるべきとも思いますし、だからこそ訪れる人に御利益があるものとも解釈できます。

一方、癒される部分で挙げますと、それぞれのご本尊です。観音様にもいろいろありますが、大半が十一面観世音と千手観世音であります。実にお顔の表情がやさしく、いかにも慈悲の心に富んでいるように感じます。加えて、手の位置であるとか、持ち物などそれぞれに意味があり、思わず手を合わさざるを得ないという表現が過言ではないと思います。また、国宝や重要指定文化財の建物や仏像に魅せられるとともに、長谷寺に代表されるような季節に応じた寺の風情にも心打たれるものがあります。

さて、先にも述べましたがまだ巡礼旅の途上であります。なぜこの時期に投稿するのか疑問に感じる方もあると存じます。本来満願を迎え、報告、懐古的に投稿すべきものとも考えますが、私からすればこの旅は挑戦でありまして、これを何かに記録として残しておきたいと思ったからであります。大層に言うほどのこともありませんが、縁あって園田学園女子大学に通い、けやき便りを手にし、投稿の機会がいただけるならありがたいと考えた次第です。



第21番 穴太寺  
横たわるお釈迦様

皆様方の中には西国巡礼をすでに経験されている方もおられるでしょうが、この投稿を読んで、興味を覚え訪れてみたいと思われる方がもしおられるならお勧めです。ぜひ訪れてみてください。

(2020.03.24 原稿受領)

## 花文字「感謝の祈り」

研究生 今西 伸子



研究生で「けやき多彩な趣味の会」代表の今西伸子さんに、自粛中に書かれた花文字を送って頂きました。

コロナの感染者が多い中で、日々の生活ができてい事に「感謝の祈りを捧げます！」とのお言葉をいただきました。

(2020.5.11 受領)

# 私の道楽

研究生 馬場 正子

もともと、教員だったので定年を機に自分のやってきたことを本にして残したいと思い、「子育て 発達のための特別支援」を創りました。そして、最後の支援学校で出会った施設から通ってくる児童のことが気になりました。支援学校には発語がなく、意思も通じない子たちが多かったのですが、施設から通ってくる子供たちは会話できる子が多かったです。しかし、学習の定着が悪く、情緒不安定な子供が多くいました。親はいても育児がうまくいかない親が多かったのです。いわゆる虐待行為が認められ、子供が施設に引き取られることが殆どでした。

そこで、私は支援学校を休んで大学に行き学びなおしました。子供の支援としての臨床心理学を学びました。支援技術で実践しましたが、どう子供たちを変えることができたのか、考えれば考えるほど自信がなくなりました。そして、定年退職したあと、再度学びなおしです。自分で研究課題を決めていいということなので、子育てに絞って、本を読みあさりました。そこで出会ったのがマーガレット・ミードの『サモアの思春期』です。当時のサモアは共同体の中で子育てをしていました。親は最小限の安全に気を配り、成長のための食事は用意していましたが、あとは関与しません。そのため、やりたい放題の子どもたちに育っていました。しかし、細かな日常生活を見ていたのはこの子たちより少し年上の子どもたちでした。やりたい放題していても一定の年齢になると教育係？になるのです。やりたい放題の子どもから教育係になることは天と地の違いです。人生儀礼だったのかもしれません。子供から大人になることで、部族が継続していくことができたのです。共同体が子育てをしてくれるので、母親の育児ノイローゼもありません。虐待をすることもありま

ん。このことを知り、近現代の母親の苦悩がはっきりし、これをもとに「虐待・子育て・教育」を書き上げました。またこれにより、人類学の面白さに目覚め園田に入学しました。経済人類学をテーマに勉強しようと思いました。教育学も経済学も人と人のコミュニケーションで成り立っているからです。3年生から 毎年、年度末に年間の研究成果？ を発表してきました。そして3年生では「神と人と経済」ということで、経済活動に神の姿が見えるという中沢新一氏の「愛と経済のロゴス」に触発されて 2015 年度の「旅とフィールドワーク第5号」に乗せていただきました。さらに翌年の6号では「神と交易 一神教と多神教」ということで、宗教・国が違ふと「富」の分配も違ふことに興味を持ちました。第7号では「鉄とくらし」というテーマで色々な地域の神社や各地の博物館を訪問し鉄の神にあいました。8号では「海と交易」ということで、半島や港を巡りました。山にゆかりのある鉄と違い海は行きやすいかと思いましたが、実は半島や古い港は現代では都会から離れていて、遠い遠いところでした。でも古代の隆盛を偲ばれる魅力的なところでした。9号は今回と同じ自費出版について書かせていただきました。



前置きが長くなりましたが、ここからは、今回の出版「めぐる、めぐる、ヒト・モノ・ココロ」について紹介させていただきます。研究の成果？ 4～8号のまとめですが、どうすれば本にできるか悩みました。でも、年齢も年齢だと感じてこの時期にまとめたいと思いました。そこで大雑把な歴史の中に経済的な事象を嵌めていくことにしました。石器時代・古代では中沢新一氏の贈与は交換に先立つという考え方に魅力を感じました。現在、交換経済を経済学の



石器時代・古代では中沢新一氏の贈与は交換に先立つという考え方に魅力を感じました。現在、交換経済を経済学の

出発点に置く学者が多い中、先進的でした。また石器・古代の人々の暮らしを想像すると、とても楽しいです。贈与は日本人にはわかりやすい事象で、今も息づいています。



近江商人

そして近世では近江商人の三方よし「売り手よし、買い手よし、世間よし」の言葉に惹かれ、滋賀、琵琶湖の周りを何回も訪れました。今も昔の風情が残っており、近江商人の館が沢山あります。

さて、古代、近世と進めようとしたが、「あれ！中世が抜けている」と気がつきました。自分の中でも江戸時代や縄文の昔はよく本を読み、映像を見ていたけれど中世はさっぱりでした。そこで意識的に調べなければと思いました。その中で桜井英治氏の「贈与の歴史学」にたどり着きました。

中世は見た目や体裁を気にする日本人のルーツを感じました。形式主義には啞然としますがこれも日本的です。贈与もだいぶ変形してしま



庶民の世界

すが残っています。さらに、網野善彦氏や赤坂憲雄氏に出会うと庶民の世界が描かれ、商業の発展、身分階層の変化、宗教の浸透など面白みが出てきました。やはり、中世を知ることは、歴史の繋がりに必要だと思いました。

そして近代です。私の嫌いな明治をはじめとして、大正・昭和前期の歴史は 政治的には目まぐるしく変化し、民衆は抑圧されていたと感じます。しかし、経済的には、貧しいながらも



残飯屋

工夫して日々の暮らしを成り立たせる庶民の力強さを感じました。残飯屋という食堂や給食の残りを集めて売る人がいました。買う人があるので

この商売は成りたっています。人気の商売だったようです。

そして現代は常に動いている歴史で、すべてを網羅するのは私の力では無理なので、興味あるものを集めてみました。現代の経済学は高度な数字、数式を操るものようですが、歴史、民俗学・文化人類学の力を借りた分析も暇つぶしにどうでしょうか。

SDGsは阪急電車のラッピングカーに張り付けてあります。これは国連サミットで採択されたもので、達成目標の17項目からなっています。働きがいや経済成長も含まれる幅広いものです。

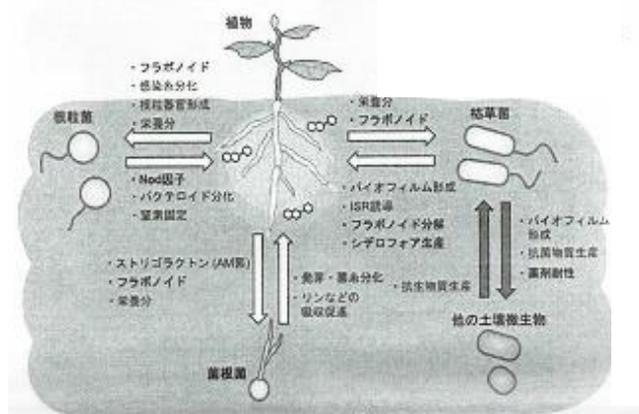
持続可能な社会に必要なもの



環境問題

環境改善とは禁止を含むことが多いですが適切な環境とは循環することが大切です。水、土地、空気、植物が適切に保たれ、持続可能な自然環境が大切です。

循環する土地と作物



(2020.5.17 原稿受領)

『語りかけボランティア』

# 中国帰国者との他文化共生

国際文化学科3年 木田 信正

はじめに

—海の向こうのはなしではない—

昨年10月23日にイギリスで、39人のベトナム人が冷蔵コンテナの中で屍体として発見されました。



犠牲者は全員ベトナム人

一人のベトナムの女の子が母親に、「息ができません。私は死にます」と悲痛のラインを送っています。ライン

をした女の子とそれを受け取った母親の悲しみと絶望感は、想像に耐えられません。絶対に許せる事ではありません。

この事件の表面だけを眺めると、日本人にとっては、海の向こうで起こった惨事に見えるかもしれませんが、実は39人のベトナム人の中に、一人の日本で技能実習生として労働していた女の子がいました。その女の子は技能実習中に病気になり、雇い主より解雇され、技能実習期間の途中でベトナムに帰国する事になりました。ベトナムに帰国したものの、送り出し機関に支払った借金の返済が残っていたはずですが、それを返済するため悪質なブローカーに、ヨーロッパにはもっと稼げる仕事があると騙され、更に多額の借金をしてイギリスでの労働を選んだのでしょう。そしてこの大惨事が起こりました。

日本で病気になった時に誰かに相談できなかったのか？病院に行き治療を受けたのか？雇い主や協同組合と本音で話げできたのか？誰か日本人の第三者が彼女に寄り添い、母国語で語りかけができれば、この悲劇が避けられたかもしれません。海の向こうの話ですまされないの

す。

現在の日本には、このように使い捨てにされている外国人はたくさんいます。中国帰国者も例外ではありません。日本国籍を持ちながらも、高齢であり、言葉が不自由なことから、地域に溶け込む事もできず、仕事に就く事が困難で、日本の社会の中で置いてきぼりになったり、はじき飛ばされているのが実態です。そのような中国帰国者に寄り添ってみたいと思い、中国帰国者への「語りかけボランティア」を始めてみました。

## 中国帰国者の問題

—高齢化—

昭和20年当時、中国の東北地方(旧満州地区)



には、開拓団などの多くの日本人が居住していましたが、ソ連軍の対日参戦により、多くの日本人が犠牲になりました。このような中で、両親と離別して孤児になり、中国の養父母に育てられた子供達、労働力として無理やり貧困農家に嫁いだ女性など、生きるためにやむなく中国に残る事になった方々を「中国残留邦人」と言います。「中国残留邦人」の多くは旧満州で、一部福建省からの「中国帰国者」もおられます。

(日中戦争勃発で日本から大陸福建へ引き上げた中国人とその日本人妻子)

日中国交正常化を機に、戦後すでに帰国していた肉親は、中華人民共和国に残留させていた子供や兄弟の消息を求め、残留孤児さがしが開始されましたが、1981年に初めて、肉親との血縁関係確認のため訪日を実現しました。

現在では、永年帰国を果たした中国帰国者とその家族は、約21,000人と言われ、その93.4%が70歳を超えた高齢者です。高齢化が進み、

医療、介護、地域社会での孤立化が中国帰国者にとって最大の問題で、不安を抱えながら生活をされています。

## 戦後も中国共産党軍と戦った日本軍

### —もう一つの「中国帰国者」—

2020年2月19日に神戸市舞子の介護センターに「近畿中国帰国者支援・交流センター」のO先生と二人で訪問ボランティアを実施しました。初めての「語りかけボランティア」でしたので、「通訳でもなく、ましてや介護士でもない。御高齢の中国帰国者の方に中国語で語りかける、お茶のみ友達感覚で、肩の力を抜いて笑顔で接すること」を心がけました。

「語りかけボランティア」の対象であるS氏は1925年生まれの満95歳、山西省太原出身で日本人女性を妻にした男性です。9歳で父親と死に別れ、日本軍人に可愛がってもらったようです。18歳の時に20歳と歳をごまかし、日本人の軍人に紹介され、二つ上の日本人の奥さんを娶ったそうです。1949年23歳の頃日本に帰国したと話されていました。

山西省太原で終戦後も1945～1949年に山西省太原にとどまり、中国共産党軍と国民党と共に戦った「蟻の兵隊」と呼ばれる在留日本軍が存在していたことを、ふと思い出しました。最終的には約2,600人の日本軍が現地にとどまり、共産党軍と戦いを繰り返しました。おそらくS氏は奥さんの実家の婿養子として、結婚した20歳（実際は18歳）から日本人として日本軍に従軍していたのでしょう。S氏ははっきりと「太原21部隊所属」と言われています。終戦後も残った「山西省日本軍残留」約2,600人（通称「蟻の兵隊」）のうちの生き残った一人であった可能性は十分にあります。

中国人の若者が日本軍として中国人と戦い、日本人として日本の土を踏み、中国人であることを捨て、日本で長年暮らしてきたS氏には口では言い表せない苦難があり、今、介護施設で日本人として一人遅く生きておられます。旧満州や福建の「中国残留邦人」とは全く違うケースの、中国と日本の中で時代に翻弄された被害者なのです。

## 中国帰国者という他文化をもつ日本人

### —国籍は日本人だけど、70年以上離れても心は大陸に—

「中国帰国者」は日本国籍をもつ日本人であると同時に、他文化をもつ日本人という側面もっています。高齢になり、不安が嵩み、昔のことを懐かしく思い、心のどこかで大陸の地に帰りたいと思っているのではないかと感じました。ですから中国語を「母語」と言い、その言葉でおしゃべりをする中で、自分はやはり中国人だと安心できるのではないのでしょうか。単なるおしゃべりですが、されどおしゃべりです。他文化をもつ「中国帰国者」に寄り添い、その方のライフヒストリーや心に秘めていることを少しでも理解することが、心の介護であり、且つ、他文化共生であると思います。それが「語りかけボランティア」の役目であると認識し、「中国帰国者」の心の負担がすこしは軽減できるように、微力ですが、できるだけ長く「語りかけボランティア」を続けていきたいと思っています。

新型コロナウイルスのため、「語りかけボランティア」は自粛してしています。「中国帰国者」の方と接することができない事が、大変残念です。特にS氏とは一日も早くお会いしたいものです。

(2020.3.23 原稿受領)



山西省太原



山西省日本軍残留

## けやきゴルフ同好会 会員募集

文学歴史学科3年 福島 久雄

「人生での価値はどれほどの財産を得たかではない。何人のゴルフ仲間を得たかである」。これはBSテレビ東京で放送中の「ゴルフ交遊抄」の冒頭のテロップです。ゴルフ史に残る伝説の人、史上唯一の年間グランドスラムを達成したことで有名な「球聖」ボビー・ジョーンズの言葉だそうです。

けやきゴルフ同好会(会長 川田郁夫=研究生)は、シニア専修コースの10番目の正式なクラブとしてこの4月に誕生しました。昨年4月からゴルフ好きが集まり、月1ゴルフをやろうと「けやきゴルフ会」を結成したのが始まりです。現在の会員は13名(内女性1名)、ゴルフ歴40年のベテランから始めて数年の初心者まで、会員相互の親睦と健康増進を図ることが目的の楽しいゴルフです。

ゴルフ場の選択は阪神地区から車で約一時間の場所、平日料金のリーズナブルなところに決めています。また、いろいろなゴルフ場でプレーしたいという会員の要望で毎月ゴルフ場を変えています。



今年は昨年と同様に4月から12月まで8月を除いて月に一度計8回のゴルフコンペを開催する計画でした。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため4月、5月のゴルフコンペは中止となり、以降も今のところ未定となっ

ています。今後感染拡大が収束し、ゴルフコンペが開催できる状況になりましたら再開していきたいと考えています。

当会では一緒にゴルフを楽しみたいという仲間を募集しています。会費は年会費1000円です。入会希望の方は下記までご連絡ください。  
TEL 080-4560-2117 (担当: 幹事 福島久雄)

(2020.5.26 原稿受領)

## けやきクラブ・同好会

### ご紹介

園田シニア専修コースでは、本稿で紹介された「けやきゴルフ同好会」を含めて以下の9つのクラブ・同好会が活動しています(休校中でそれに伴い、活動も原則休止しています)。

▶「けやき便り」編集クラブ ▶けやきITを楽しむ会  
▶けやきテニスクラブ ▶けやきカラオケクラブ  
▶けやき遊歩クラブ ▶けやき軽音楽同好会  
▶けやき朗読倶楽部 ▶けやき多彩な趣味の会  
▶けやきゴルフ同好会

これらクラブ・同好会につきましては、本年3月31日に発刊された「シニア専修コース40周年記念誌『明日を目指してIV』」の中の「シニア専修コース 受講生のあゆみ」のP28からP30に紹介しておりますので、是非そちらもご覧ください(園田学園女子大学社会連携推進センター・生涯学習ユニットのHP、4/20のお知らせ参照)。

[https://www3.sonoda-u.ac.jp/exten/syougai/keyaki\\_dayori/syougaiayumi40.pdf](https://www3.sonoda-u.ac.jp/exten/syougai/keyaki_dayori/syougaiayumi40.pdf)



▲ けやきテニス同好会

## 社会連携推進センター

### 生涯学習ユニットからのお知らせ

皆さま、お変わりありませんか。

新型コロナウイルスの感染拡大で、シニア受講生の皆様におかれましては、卒業式や入学式など、楽しみに予定されていた行事が中止になり、残念に思われていることでしょう。私どもにとりまして非常に辛い決定でした。その後、緊急事態宣言が発出され、大学は臨時休校、そして、生涯学習事業の前期中止と、さらに辛く厳しい状況に突入です。まさかこんなに長い間皆さまとお会いできない日が続くとは思ってもいませんでした。

緊急事態宣言が解除になり、徐々に生活が戻りつつありますが、大学HP公開の「新型コロナウイルス感染拡大防止のための園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部の活動指針」の通り、感染の拡大や収束の状況、それに伴う政府や自治体等からの要請レベルなどの諸状況を踏まえ本学の活動制限のレベルが設定されます。そのレベルに沿って諸活動に認める範囲が明記されていますが、紙面の関係上、ここに全てを記載出来ませんので、HPをご確認頂ければと思います。（\*注 生涯学習に関わること＝7. 学外者（含受験生））

多くのご期待の声をお寄せ頂いています。感謝申し上げます。再開の決定につきましては、もうしばらくお待ち下さい。お願いいたします。



### ☆ アンケート「私流ステイホーム」調査

■休止期間中こそ、シニアの皆さんとは「密」な関係が重要だ！という思いから調査を企画。

ご協力ありがとうございました。

後日社会連携推進センターHPに掲載します。

- Ⅰ 不要不急の要請を受け、自粛期間中「多く取り組むようになったこと」を教えてください。
- Ⅱ コロナ収束後、自粛していたことの中でしたいことは何ですか。
- Ⅲ 本学、シニア専修コース、又、シニア受講生仲間に何かメッセージ等ありましたら、ご記入ください。

### ☆ センター・スタッフの私流ステイホーム

■松葉（所長）「ひたすら愛犬コロンの世話。日頃、家にいる時間が少ないため、家にいると戸惑い、人でいうサーカディアンではなく、ワンカディアンリズムが狂い、夜中の活動が増える」

「免疫力を高める食事・運動・睡眠を！」

■大野（課長）「マスク（バフ）着用の町内ランニングで動く身体復活、端切れ利用の手縫いマスク作りで集中力アップ」「シニア受講生不在の園田キャンパスは変だ、何か物足りない、刺激がない、と感じるのは私だけだろうか？」

■増田「普段、見て見ぬふりをしてきたところを片っ端から掃除する」「お寄せいただくアンケート等で皆さんのお元気そうなお声が聞ける度に、ホッとしています。安心して学べる日が一日も早く来ますように！」

■奥山「お菓子作りやランチメニューを考えたり、おうちカフェを楽しんでいました」

「皆さまの笑顔にお会いできる日を心待ちにしております」

■南部「小学生の子供達の勉強、規則正しい生活をさせることに奮闘」「シニア専修コースの皆様、お元気ですか。収束後、安心して皆様と再会できる事を楽しみにしております」

☺ 再開の日まで、皆さま、お元気で！♪♪♪♪♪

社会連携推進センター

TEL 06(6429)9908

EMAIL syougai@sonoda-u.ac.jp

## 『けやき便り』への投稿について

「けやき便り」では皆さんからの自由投稿をお待ちしています。題材は、趣味（読書、旅行、俳句・短歌・川柳・絵・書・写真・イラストなど）の紹介、何気なく感じたり思ったことのエッセイなど何でも結構ですので、どしどしお寄せください。

原稿は手書でもパソコンなどによるテキストでも結構です。編集クラブ員または下記アドレス宛に原稿をお送りください。

[hideyasakurai94@gmail.com](mailto:hideyasakurai94@gmail.com) 櫻井秀也  
本、電子版「けやき便り」についてのご意見、ご感想も上記アドレス宛にお送りください。

## 編・集・後・記

**3月 買い物とウォーキング以外は家に籠りました。**

「日に3度おうちカフェのママになる」

4月 医療関係者への感謝の気持ちを東京タワーとスカイツリーを青く光らせて表していました。夜空に気高く光りました。

「心にもブルーライトを灯す日々」

5月 窓を覗くようにカクテルというつるバラが咲きました。やはり外には出ないで。

「四方山を窓辺のバラと語り合う」

6月 ウイズコロナ 校正をしながら元気なシニアの皆さんからたくさんの力をいただきました。井の中の蛙が飛び出しました。

「2波3波来ても生き抜くパワー出す」

研究生 西島登志子

**大学の休校中ですが、電子版という形で「けやき便り」22号が誕生したことを、とても喜んでいます。**

お寄せいただいた原稿を拝見して、コロナで、

制約の多い日常の中でも、いろんな工夫や活動をされ、ご活躍の様子に、大変元気をいただきました。シニア専修コースでのつながりが、とてもありがたいです。原稿をお寄せいただいた皆様、今、この「けやき便り」をご覧ください。ありがとうございます。

また、キャンパスでお目にかかれます日を、心待ちにしています。

研究生 宮本裕江

**初めて紙を使わない「電子版『けやき便り』」**に挑戦して、皆さまにお届けするところまでこぎつけました。「いきいきシニア受講生の近況報告」を楽しんでいただけましたでしょうか？

編集クラブでは、従来のように集まって会議をすることが難しいために、メールを軸に原稿を募集して、ネット上の共有ファイルを使って校正・編集作業ならびに意見交換をするといったやり方でした。コロナの影響下で、社会でも仕事や教育などで大きな変化があった中で、この「けやき便り」も一つの試練と新たな可能性へのヒントを与えられた気がします。

電子版では、従来を上回るたくさんの方の声をいただきました。外出自粛のなかで過ごした日々を振り返り、感じたことを文章として残したいという方々が多かったのです。

日頃できないことに取り組もうと、集中して本を読み、映画を鑑賞し、料理をしてゲームをする、そして仲間とメール交換をしあったり、オンライン飲み会を楽しんだり・・・多様な過ごし方が見えてきます。「普段の何気ない生活がいかに貴重なものか」「人とのつながりの大切さを再認識した」という声も聞こえました。ユーモアあふれる文章や川柳からは気持ちの良い笑いをいただきました。

経験したことのない日々を、生き生きと過ごすシニアの皆さまのお姿は、想像以上に多様でたくましく、大きな元気をいただきました。ありがとうございました。

文歴3年 櫻井 秀也